

Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX S6900



活用ガイド

はじめに	➡ i
目次	➡ xiv
各部の名称	➡ 1
撮影の準備	➡ 10
撮影と再生の基本操作	➡ 15
いろいろな撮影	➡ 24
いろいろな再生	➡ 58
動画の撮影と再生	➡ 80
メニューを使う	➡ 87
Wi-Fi（無線LAN）を使う	➡ 141
テレビ、プリンター、パソコンとの接続	➡ 145
付録	➡ 154

はじめに

はじめにお読みください

お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」(□v~xi) および「Wi-Fi (無線LAN) 機能について」(□xii) をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

- すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影の準備」(□10) および「撮影と再生の基本操作」(□15) をご覧ください。

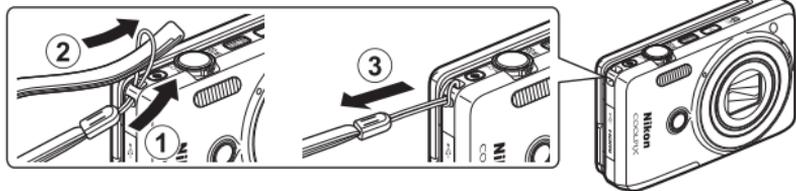
本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
☒	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
□	関連情報が記載されているページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記することがあります。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[] で囲って表記しています。
- 本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

ストラップの取り付け方



ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっていきます。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないこととなります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のウェブサイトから登録をお願いします。

<https://reg.nikon-image.com/>

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

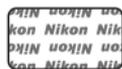
●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（電池、バッテリーチャージャー、本体充電ACアダプター、ACアダプター、USBケーブル）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- 専用Li-ionリチャージャブルバッテリーには、ニコン純正品を示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が出せないことや、電池の異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



ホログラム
シール

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記のウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.nikon-image.com/support/manual/>

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（メモリーカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、セットアップメニュー（□87）の「オープニング画面」の「撮影した画像」も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

Wi-Fi設定は、Wi-Fi設定メニュー（□87）の「設定の初期化」で消去してください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は以下のようになっています。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例

	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告 (カメラについて)



分解禁止

分解したり、修理や改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

**接触禁止**

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

**すぐに修理依頼を****水かけ禁止**

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない
感電や発火などの事故や故障の原因になります。

**電池を取る**

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。

電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

**すぐに修理依頼を****禁止**

通電中のカメラに長時間直接触れない

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

**使用禁止**

引火、爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。

**発光禁止**

車の運転者等にもむけてフラッシュを発光しないこと

事故の原因となります。

**発光禁止**

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害の原因になります。

撮影時には、1 m 以上離れてください。

特に乳幼児の撮影には注意してください。

**保管注意**

幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない

幼児の飲み込みの原因となります。

飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。

**保管注意**

ストラップが首に巻きつかないようにする

特に幼児・児童の首にストラップをかけない

首に巻き付くと窒息の原因になります。

**警告****指定の電源(電池、本体充電ACアダプター、ACアダプター、USBケーブル)を使う**

指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になります。

**使用禁止****充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと**

感電の原因となります。

雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

**注意** (カメラについて)**感電注意****ぬれた手でさわらないこと**

感電の原因になることがあります。

**保管注意****製品は、幼児の手の届く所に置かない**

ケガの原因になることがあります。

**保管注意****使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること**

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

**使用注意****航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする****飛行中は無線通信機能を使わない****病院では病院の指示に従う**

本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。Eye-Fiカードは、あらかじめカメラから取り外してください。

**電池を取る****長期間使用しないときは電源(電池、本体充電ACアダプター、ACアダプター)を外すこと**

電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。

**プラグを抜く**

本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因になることがあります。

**発光禁止****内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと**

やけどや発火の原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
故障や火災の原因になることがあります。



危険 (専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

電池を分解しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

専用の充電器を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



使用禁止

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL19は、ニコンデジタルカメラ専用の充電電池でCOOLPIX S6900に対応しています。EN-EL19に対応していない機器には使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

ネックレスやヘアピンなど金属製のものと一緒に運んだり、保管したりしない
ショートして液もれ、発熱、破裂の原因になりますので、ビニール袋などに入れて絶縁してください。



危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

警告 (専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)



保管注意

電池は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。



使用禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するとき、ビニールテープなどで接点部を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

警告 (本体充電ACアダプターについて)



分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと



すぐに修理依頼を

感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



使用禁止

指定のUSBケーブルを使う

指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になります。



プラグを抜く

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。

電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



すぐに修理依頼を



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。



警告

電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること

そのまま使用すると火災の原因になります。



使用禁止

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。

雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



禁止

ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと

また、重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、むりに曲げたりしないこと

ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。



感電注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因になることがあります。



禁止

海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと

発熱、故障、火災の原因となります。



禁止

通電中のACアダプターに長時間直接接触れない

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

⚠ 注意 (本体充電ACアダプターについて)



感電注意

ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。



放置注意

製品は、幼児の手の届く所に置かない
ケガの原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

Wi-Fi (無線LAN) 機能について

● 電波に係わるご注意

- 本製品の Wi-Fi の無線機能は、ご購入された国の法令に準拠し、ご購入された国以外では使用できません。
ご購入された国以外での使用について、当社は一切の責任を負いません。
ご購入された国がわからないときは、本書裏面に記載のニコン カスタマーサポートセンターにご相談ください。

● Wi-Fi (無線LAN) 機能のご注意

2.4 DS4 / OF4

Wi-Fi (無線LAN) 機能：2.4DS4/OF4

本製品の使用周波数は 2.4 GHz 帯、変調方式は DSSS、OFDM、与干渉距離は約50 mです。

- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています。
以下の行為は法令で罰せられることがあります。
 - 本製品の分解/改造
 - 本製品から証明ラベルをはがす
- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです：
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
 - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - アマチュア無線局（免許を要する無線局）これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。
- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか？事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fi アクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面に記載のニコン カスタマーサポートセンターにご相談ください。

- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi（無線LAN）機器としてお使いください。

Wi-Fi 機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は、米国輸出規制（EAR）を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。

なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせください。

● 個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi（無線LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。必要な内容は、お客さまの責任において控えを必ずおとりください。当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi 接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー（87）の【設定クリアー】で消去してください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

目次

はじめに	i
はじめにお読みください	i
本書の記載について	i
ストラップの取り付け方	ii
ご確認ください	iii
安全上のご注意	v
Wi-Fi (無線 LAN) 機能について	xii
<hr/>	
各部の名称	1
カメラ本体	1
液晶モニターの開き方と角度調節	2
カメラスタンドを使う	3
タッチパネルの操作方法	4
液晶モニターの表示内容	6
撮影モード	6
再生モード	8
<hr/>	
撮影の準備	10
電池とメモリーカードを入れる	10
電池やメモリーカードを取り出すときは	10
メモリーカードと内蔵メモリーについて	10
電池を充電する	11
電源を ON にして、表示言語と日時を設定する	13
<hr/>	
撮影と再生の基本操作	15
おまかせシーンモードで撮影する	15
ズームを使う	17
シャッターボタンの半押しと全押し	17
フロントシャッターボタンを使う	18
タッチ撮影について	18
画像を再生する	19
画像を削除する	20
撮影モードを変える	22
フラッシュやセルフタイマーなどを使う	23
動画を撮影する	23
<hr/>	
いろいろな撮影	24
☑ (おまかせシーン) モード	24

シーンモード (シーンに合わせて撮影する).....	25
ヒントとご注意.....	27
かんたんパノラマの撮影方法.....	31
かんたんパノラマの再生方法.....	33
スペシャルエフェクトモード (効果を付けて撮影する).....	34
ベストフェイスモード (笑顔を撮影する).....	36
メイクアップモード (顔をよりきれいに撮影する).....	37
セルフコラージュを使う.....	38
📷 (オート撮影) モード.....	39
クイックエフェクトを使う.....	40
ジェスチャー操作でセルフタイマー撮影をする.....	41
フラッシュモード.....	43
セルフタイマー.....	45
マクロモード (接写する).....	46
露出補正 (明るさを調節する).....	47
フラッシュやセルフタイマーなどの初期設定一覧.....	48
ピント合わせについて.....	50
顔認識撮影について.....	50
美肌機能について.....	51
ターゲットファインドAFについて.....	52
オートフォーカスが苦手な被写体.....	53
フォーカスロック撮影.....	54
撮影時に組み合わせて使えない機能.....	55
いろいろな再生.....	58
拡大表示.....	58
サムネイル表示 / カレンダー表示.....	59
お気に入り再生モード.....	60
お気に入りフォルダーに画像を登録する.....	60
お気に入りフォルダーの画像を再生する.....	61
お気に入りフォルダーの画像登録を解除する.....	62
お気に入りフォルダーのアイコンを変更する.....	63
オート分類再生モード.....	64
撮影日一覧モード.....	65
連写した画像 (連写グループ) の再生と削除.....	66
連写グループの再生方法.....	66
連写グループの画像を削除する.....	67
画像の編集 (静止画).....	68
画像編集の前に.....	68
クイックエフェクト (色合いや雰囲気を変える).....	68
簡単レタッチ (コントラストと鮮やかさを高める).....	69
D-ライティング (画像の暗い部分を明るく補正する).....	70

赤目補正（フラッシュ撮影による赤目を補正する）.....	70
メイクアップ効果（人物の顔をきれいに見せる）.....	71
ペイント（画像に文字や絵を描く）.....	73
スリム効果（画像を伸縮させる）.....	75
アオリ効果（遠近効果をつける）.....	76
セレクトソフト（背景をぼかす）.....	77
スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）.....	78
トリミング（画像の一部を切り抜く）.....	79

動画の撮影と再生..... 80

動画撮影中に静止画を記録する.....	83
動画再生中の操作.....	84
動画の編集.....	85
動画の必要な部分だけを切り出す.....	85
動画の1フレームを静止画として保存する.....	86

メニューを使う..... 87

撮影メニュー（  （オート撮影）モード）.....	89
画像モード（画像サイズ/画質）.....	89
タッチ撮影.....	91
ホワイトバランス（色合いの調整）.....	94
連写.....	96
ISO感度設定.....	99
ピクチャーカラー.....	100
AFエリア選択.....	101
AFモード（オートフォーカスモード）.....	104
クイックエフェクト.....	104
ベストフェイスメニュー.....	105
美肌効果.....	105
笑顔自動シャッター.....	106
目つぶり軽減.....	107
メイクアップメニュー.....	108
セルフコラージュ.....	108
再生メニュー.....	109
Wi-Fi送信画像の指定.....	109
スライドショー.....	110
プロテクト設定.....	111
画像回転.....	111
音声メモ.....	112
画像コピー（メモリーカードと内蔵メモリー間のコピー）.....	113
連写グループ表示方法.....	114
連写の代表画像選択.....	114

画像選択画面の操作方法	115
動画メニュー	116
動画設定	116
HS動画で記録開始	120
AFモード	120
動画手ブレ補正	121
風切り音低減	122
フレームレート設定	122
Wi-Fi 設定メニュー	123
文字入力画面の操作方法	124
セットアップメニュー	125
オープニング画面	125
地域と日時	126
モニター設定	128
日付写し込み	130
静止画手ブレ補正	131
モーション検知	132
AF補助光	133
電子ズーム	133
操作音	134
オートパワーオフ	134
カード/メモリーの初期化（フォーマット）	135
言語/Language	136
HDMI	136
パソコン接続充電	137
目つぶり検出設定	138
Eye-Fi送信機能	139
設定クリアー	140
バージョン情報	140
<hr/>	
Wi-Fi（無線 LAN）を使う	141
スマートデバイスにソフトウェアをインストールする	141
カメラとスマートデバイスを接続する	142
スマートデバイスに取り込みたい画像をカメラで送信指定する	144
<hr/>	
テレビ、プリンター、パソコンとの接続	145
テレビとの接続（テレビ画面での再生）	147
プリンターとの接続（ダイレクトプリント）	148
カメラとプリンターを接続する	148
1コマずつプリントする	149
複数の画像をプリントする	150
ViewNX 2を使う（パソコンに画像を取り込む）	152

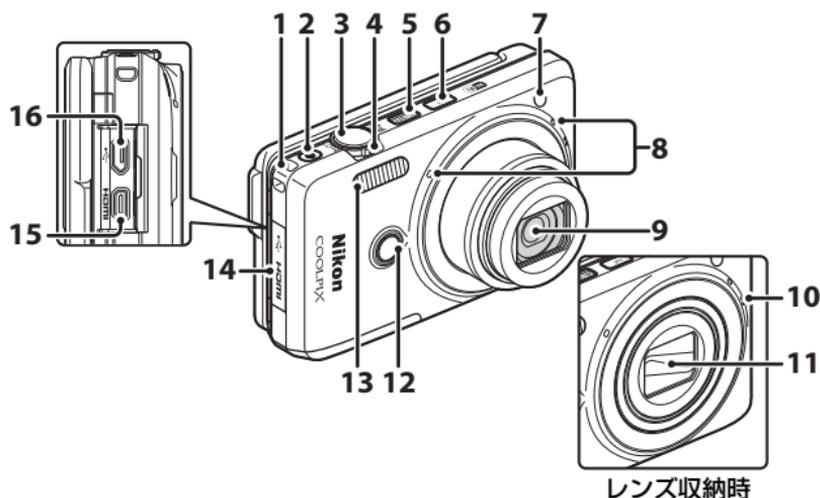
ViewNX 2をインストールする	152
パソコンに画像を取り込む	152

付録..... 154

取り扱い上のご注意.....	155
カメラについて	155
電池について	156
本体充電ACアダプターについて	157
メモリーカードについて	158
お手入れ方法	159
クリーニングについて	159
保管について	159
警告メッセージ	160
故障かな?と思ったら.....	164
記録データのファイル名	171
別売アクセサリ	172
主な仕様.....	173
推奨メモリーカード.....	177
索引	179
ニコンプラザ、サービスセンターのご案内.....	183
アフターサービスについて	184

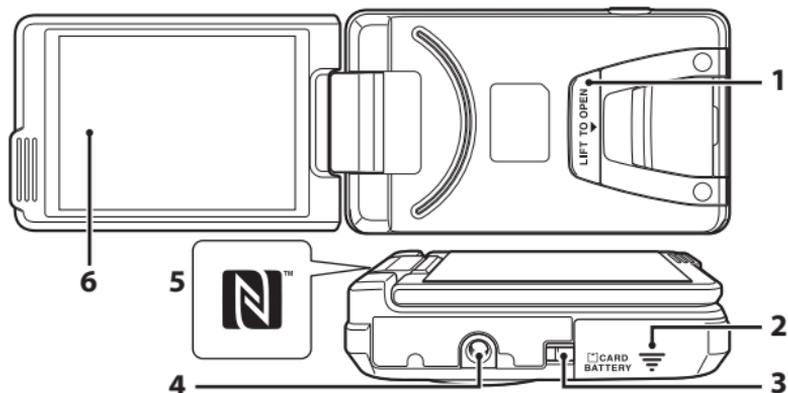
各部の名称

カメラ本体



各部の名称

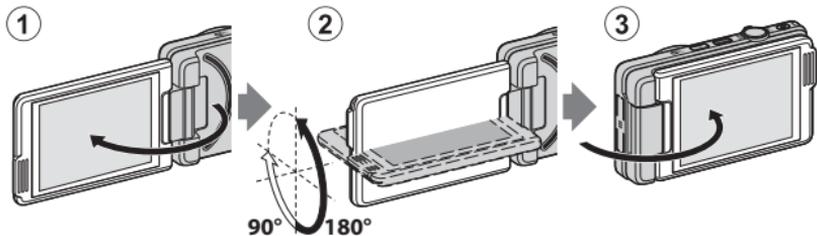
- | | | | |
|---|----------------------|----|------------------------------|
| 1 | ストラップ取り付け部..... ii | 8 | マイク (ステレオ).....112 |
| 2 | ● (動画撮影) ボタン.....23 | 9 | レンズ |
| 3 | シャッターボタン..... 16 | 10 | スピーカー |
| 4 | ズームレバー.....17 | 11 | レンズバリアー |
| | W : 広角ズーム.....17 | 12 | フロントシャッターボタン |
| | T : 望遠ズーム.....17 | | 18 |
| | ☒ : サムネイル表示.....59 | 13 | フラッシュ.....43 |
| | Q : 拡大.....58 | 14 | 端子カバー.....145 |
| 5 | 電源スイッチ/電源ランプ | 15 | HDMI マイクロ端子 (Type D).....145 |
| |13 | 16 | Micro-USB端子.....145 |
| 6 | Wi-Fiボタン.....142、144 | | |
| 7 | セルフタイマーランプ.....45 | | |
| | AF補助光 | | |



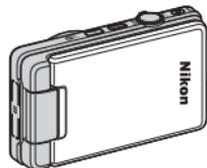
- | | | | | | |
|----------|--------------------------------|-----------|----------|--------------------------|---------|
| 1 | カメラスタンド..... | 3 | 4 | 三脚ネジ穴..... | 175 |
| 2 | 電池/メモリーカードカバー
..... | 10 | 5 | Nマーク (NFCアンテナ部)
..... | 142、144 |
| 3 | パワーコネクターカバー (別
売ACアダプター接続用) | 6 | 6 | 液晶モニター | 6 |

液晶モニターの開き方と角度調節

このカメラの液晶モニターは、向きや角度を調節できます。通常は③の状態でお使いください。



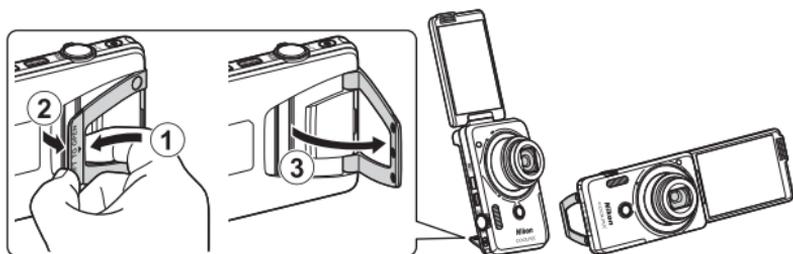
カメラを使わないときや持ち運ぶときは、傷や汚れを防ぐためにモニター画面を内側にしてカメラ本体に収納してください。



✓ 液晶モニターについてのご注意

液晶モニターを動かすときは、無理な力を加えず、可動範囲内でゆっくりと回してください。

カメラスタンドを使う



カメラに電池を入れて (□10)、液晶モニターを180度に開きます。カメラスタンド (LIFT TO OPEN) の下に指を差し入れて (①)、浮いたカメラスタンドをつまんで引き出します (②)。スタンドは最後まで開いた角度 (87度) または途中で止まる角度 (67度) のどちらかでお使いください (③)。



✓ カメラスタンドについてのご注意

- 上記以外の角度では、カメラが不安定になり倒れてしまう可能性があります。カメラが安定する角度に調整し、必ず置く場所が水平で安定していることを確認してお使いください。
- 液晶モニターをカメラ本体に収納するときは、先にカメラスタンドを閉じてください。
- カメラスタンドを無理に (87度以上) 開くと故障の原因になります。

📎 カメラスタンドの活用方法

ジェスチャー操作 (□41) やメイクアップモードの [セルフコラージュ] (□38) を組み合わせて使うことで、より簡単に自分撮りができます。

タッチパネルの操作方法

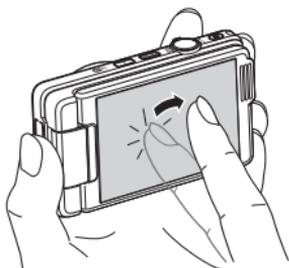
このカメラの液晶モニターはタッチパネルになっており、指で画面に触れて操作できます。操作方法は以下のとおりです。

タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。

以下の操作に使います。

- アイコンを選ぶ
- サムネイル表示中に画像を選ぶ
- タッチ撮影を使う

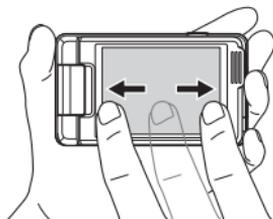


ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かし、離す動作です。

以下の操作に使います。

- 再生中（1コマ表示時）に前後の画像を表示する
- 画像の拡大表示中に表示範囲を移動する
- 露出補正などのスライダー操作

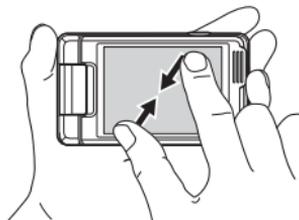
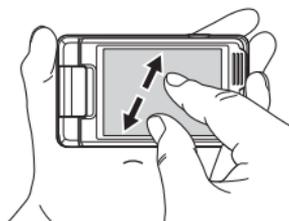


広げる/つまむ

タッチパネルに2本の指を触れたまま、指の間隔を広げたり、つまむように狭めたりする動作です。

以下の操作に使います。

- 再生中に、画像を拡大／縮小する
- 再生中（1コマ表示時）にサムネイル表示にする



✓ タッチパネルについてのご注意

- このカメラのタッチパネルは静電式です。爪でタッチしたり、手袋などをはめたままタッチしたりすると反応しないことがあります。
- 先のとがった硬い物で押さないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 市販の保護フィルムを貼ると反応しないことがあります。

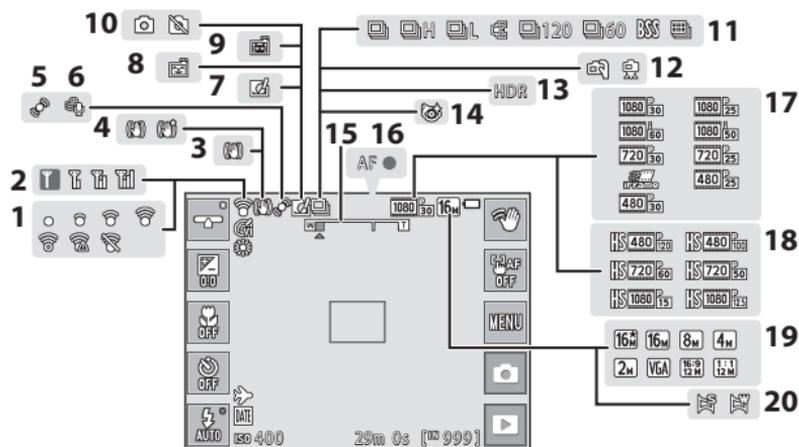
✓ タッチパネル操作時のご注意

- タッチするときに、指をタッチパネルに触れたままにすると、適切に動作しないことがあります。
- ドラッグするとき/広げるとき/つまむときに、以下の操作をすると、適切に動作しないことがあります。
 - タッチパネルを弾く
 - 指を動かす距離が短すぎる
 - タッチパネルを軽くなでるように指を動かす
 - 指を動かす速度が速すぎる
 - 広げるとき/つまむときに、2本の指のタイミングの差が大きい
- タッチするときに、タッチパネルの他の部分にも何かが触れていると、適切に動作しないことがあります。

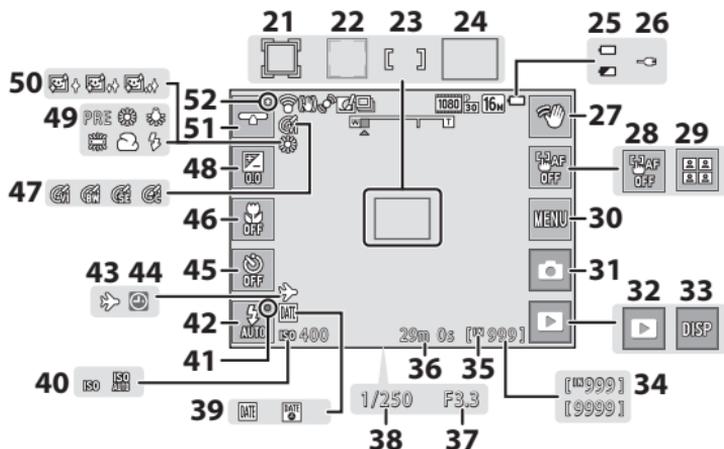
液晶モニターの表示内容

撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（[モニター設定]（[128](#)）→[モニター表示設定]→[情報オート]時）。

撮影モード

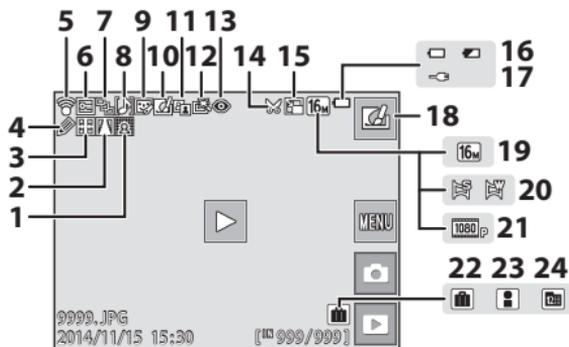


1 Eye-Fi通信表示.....	139	11 連写モード.....	96
2 Wi-Fi通信表示.....	123、142	12 手持ち撮影/三脚撮影	27、28
3 静止画手ブレ補正表示..	131	13 逆光 (HDR)	29
4 動画手ブレ補正表示.....	121	14 目つぶり軽減.....	107
5 モーション検知表示.....	132	15 ズーム表示.....	17、46
6 風切り音低減	122	16 AF表示.....	16
7 クイックエフェクト	40、104	17 動画設定 (通常速度の動画)	116
8 笑顔自動シャッター.....	106	18 動画設定 (HS動画).....	117
9 ペット自動シャッター.....	30	19 画像モード.....	89
10 動画撮影中の静止画記録	83	20 かんたんパノラマ.....	31

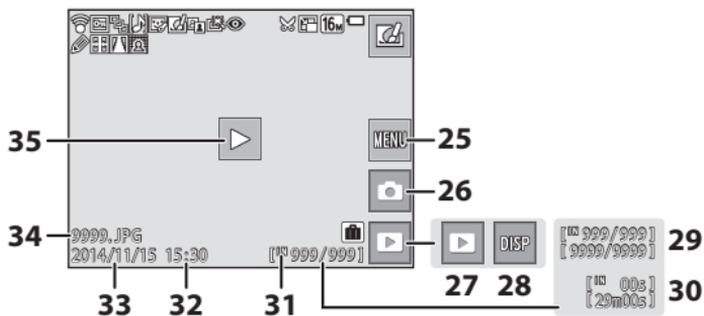


21	AFエリア (ターゲット追尾) 102、103	35	内蔵メモリー表示 14
22	AFエリア (顔認識、ペット検出) 30、36、50、101	36	記録可能時間 (動画) 23
23	AFエリア (中央) 54	37	絞り値 17
24	AFエリア (ターゲットファインドAF) 52、102	38	シャッタースピード 17
25	電池残量表示 14	39	日付写し込み 130
26	本体充電ACアダプター接続中表示	40	ISO感度表示 99
27	ジェスチャー操作 41	41	フラッシュ表示 43
28	タッチAF解除 93	42	フラッシュモード 43
29	セルフコラージュ 38	43	訪問先 126
30	メニュー画面表示 87、89、105、108、116、123、125	44	日時未設定 165
31	撮影モード 15、22、24、25、34、36、37、39	45	セルフタイマー 45
32	再生モード (再生モードへの切り換え) 19	46	マクロモード 46
33	情報再表示 23、128	47	ピクチャーカラー 100
34	記録可能コマ数 (静止画) 14	48	露出補正值 47
		49	ホワイトバランス 94
		50	美肌効果 105
		51	スライダー表示 26、35、37
		52	設定変更済み表示

再生モード



1	セレクトソフト済み表示77	13	赤目補正済み表示.....70
2	アオリ効果済み表示.....76	14	トリミング済み表示58、79
3	スリム効果済み表示.....75	15	スモールピクチャー.....78
4	ペイント済み表示.....73	16	電池残量表示.....14
5	Eye-Fi通信表示.....139	17	本体充電ACアダプター接続 中表示
6	プロテクト表示.....111	18	クイックエフェクト
7	連写グループ表示（[1枚ずつ] 設定時）.....114	19	画像モード.....89
8	音声メモ表示.....112	20	かんたんパノラマ.....33
9	メイクアップ効果済み表示71	21	動画設定.....116
10	クイックエフェクト済み表示68	22	お気に入りフォルダー表示60
11	D-ライティング済み表示70	23	オート分類項目表示.....64
12	簡単レタッチ済み表示.....69	24	撮影日一覧表示.....65

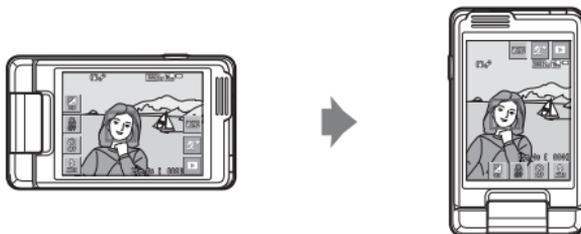


- | | |
|--|---|
| <p>25 メニュー画面表示
.....87、109、123、125</p> <p>26 撮影モード（撮影モードへの切り換え）.....19</p> <p>27 再生モード60、64、65</p> <p>28 情報再表示128</p> <p>29 画像の番号/全画像数</p> <p>30 動画の再生時間</p> | <p>31 内蔵メモリー表示</p> <p>32 撮影時刻</p> <p>33 撮影日</p> <p>34 ファイル名.....171</p> <p>35 かんたんパノラマ再生
連写グループ再生
動画再生</p> |
|--|---|

📎 液晶モニター表示の回転について

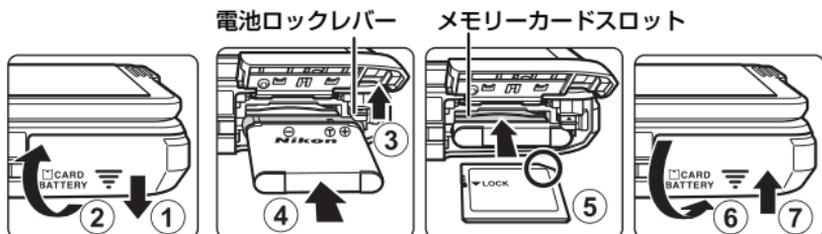
液晶モニターの表示は、カメラの向きに合わせて、以下のように自動的に回転します。

- 動画の撮影/再生時は回転しません。
- メニュー画面では回転しません（横位置に固定されます）。



撮影の準備

電池とメモリーカードを入れる



- 電池は、+と-を正しい向きにし、オレンジ色の電池ロックレバーをずらしながら (③)、奥まで差し込みます (④)。
- メモリーカードは、正しい向きでカチッと音がするまで差し込みます (⑤)。
- 電池やメモリーカードの向きを間違えると、故障の原因になりますので、ご注意ください。

メモリーカードの初期化について

他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。メモリーカードをカメラに入れ、**MENU**をタッチし、セットアップメニュー (□87) の**[カードの初期化]**を選びます。

電池やメモリーカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、電池/メモリーカードカバーを開けます。

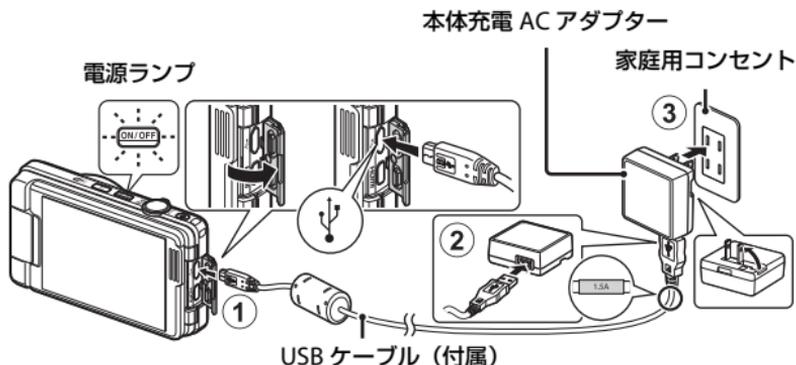
- 電池ロックレバーをずらすと、電池が押し出されます。
- メモリーカードを指で軽く押し込むと、メモリーカードが押し出されます。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、メモリーカードが熱くなっていることがありますので、ご注意ください。

メモリーカードと内蔵メモリーについて

撮影したデータは、メモリーカードまたはカメラの内蔵メモリーのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使うときは、メモリーカードを取り出してください。

電池を充電する

1 電池を入れたカメラを、家庭用コンセントに接続する



- 電源ランプがオレンジ色でゆっくり点滅し、充電が始まります。
- 充電が終わると、電源ランプが消灯します。残量がない電池の場合、約2時間かかります。
- 電源ランプがオレンジ色で速い点滅を繰り返す場合は、充電できません。以下の原因が考えられます。
 - 充電可能な温度ではない。
 - USBケーブルまたは本体充電ACアダプターが正しく接続されていない。
 - 電池に異常がある。

2 コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外す

USBケーブルについてのご注意

- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

充電についてのご注意

- 充電中はカメラを操作できますが、充電時間が長くなります。
- 電池残量が極端に少ないときは、充電中でもカメラを操作できない場合があります。
- EH-71P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。

パソコンや充電器で充電する

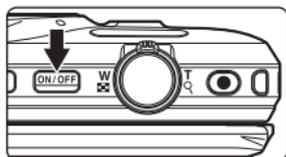
- このカメラをパソコンに接続しても、電池を充電できます。
- 別売のバッテリーチャージャー MH-66を使うと、カメラを使わずに電池を充電できます。

電源をONにして、表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- 液晶モニターが点灯します。
- もう一度電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。



2 表示言語をタッチする



3 [はい] をタッチする

4 ◀▶ をタッチして自宅のある地域 (タイムゾーン) を選び、OK をタッチする

- [📍] をタッチすると地図上部に📍が表示され、夏時間として設定されます。取り消すには🗑️をタッチします。



5 日付の表示順をタッチして選ぶ

6 日時を合わせ、OKをタッチする

- 変更したい項目をタッチし、▲▼をタッチして日時を合わせます。



7 確認画面が表示されたら、[はい] をタッチする

- 設定が完了すると、レンズが繰り出します。
- 撮影画面になり、おまかせシーンモードで撮影できます。
- 電池残量表示
 : 電池残量はあります。
 : 電池残量が少なくなりました。
- 記録可能コマ数
メモリーカードをカメラに入れていないときは、が表示され、画像を内蔵メモリーに記録します。

電池残量表示



記録可能コマ数

言語や日時の設定をやり直すときは

- ✔セットアップメニュー (□□87) で [言語/Language] または [地域と日時] を設定します。
- ✔セットアップメニュー → [地域と日時] → [タイムゾーン] →  を選び、 をタッチして夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、もう一度  をタッチしてオフにすると1時間戻ります。

時計用電池について

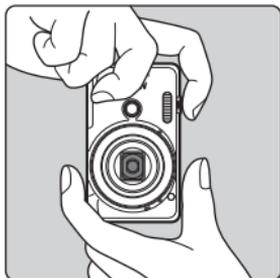
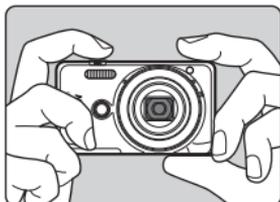
- カメラの時計は、内蔵のバックアップ用電池で動いています。バックアップ用電池は、カメラに電池を入れるかACアダプター (別売) を接続すると、約10時間で充電され、時計を数日間動かします。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください (□□13)。

撮影と再生の基本操作

おまかせシーンモードで撮影する

1 カメラを構える

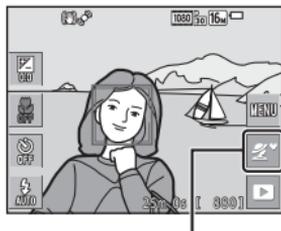
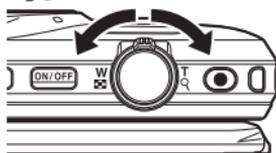
- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイク、スピーカーなどに、指などがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときには、フラッシュの位置をレンズよりも上にご覧ください。



2 構図を決める

- ズーム位置を変えるには、ズームレバーを動かします。
- カメラが撮影シーンを判別すると、撮影モードアイコンが切り換わります。

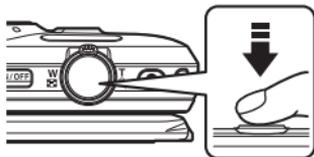
広い範囲を大きく写す
写す



撮影モードアイコン

3 シャッターボタンを半押しする

- ピントが合うと、AFエリアまたはAF表示が緑色に点灯します。
- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。
- AF エリアまたは AF 表示が点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて半押しをやり直してください。



4 半押ししたまま、シャッターボタンを全押しして撮影する



✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメモリーカードが壊れることがあります。

📎 オートパワーオフについて

- カメラを操作しない状態が約1分続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- 待機中に液晶モニターを再点灯するには、電源スイッチやシャッターボタンなどを押します。

📎 三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
 - 暗い場所でフラッシュモード (□23) がⓧ (発光禁止) のとき
 - ズーム位置が望遠側するとき
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐためセットアップメニュー (□87) の [静止画手ブレ補正] を [しない] にしてください。

ズームを使う

ズームレバーを動かすと、ズーム位置が変わります。

- 大きく写す：**T**側
- 広い範囲を写す：**W**側
電源をONにしたときは、最も広角側になっています。
- ズームレバーを動かすと、撮影画面にズームの量が表示されます。
- 光学ズームの最大倍率でズームレバーを **T** 側に動かすと、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡大できます。



電子ズームについて

電子ズームが作動するとズーム表示が青色に変わり、さらに倍率を上げると黄色に変わります。

- ズーム表示が青色のとき：ダイナミックファインズームにより、電子ズームによる画質の劣化が抑えられます。
- ズーム表示が黄色のとき：画質の劣化が目立つことがあります。
- 青色の領域は、画像サイズが小さいほど広くなります。
- 以下の場合、ズーム表示が青色にならず、ダイナミックファインズームが使えません。
 - シーンモードの [スポーツ]、[ミュージアム]
 - 連写の設定 (□□96) が [単写] 以外

シャッターボタンの半押しと全押し

<p>半押し</p> 	<p>シャッターボタンを軽く抵抗を感じるころまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。 半押しするとピントと露出(シャッタースピードと絞り値)が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。</p>
<p>全押し</p> 	<p>シャッターボタンを深く押し込む(全押しする)と、シャッターがきれます。 シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる(手ブレする)ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。</p>

フロントシャッターボタンを使う

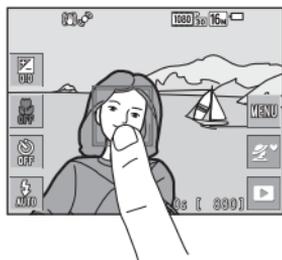
フロントシャッターボタンを押しても撮影できます。カメラを持ちながら自分撮りをするときに便利です。

- 半押しはできません。
- カメラがピントと露出を合わせます。



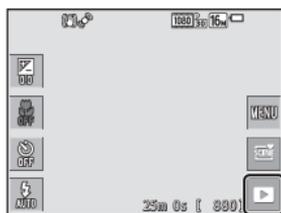
タッチ撮影について

タッチ撮影で、ピントが合うエリアを変えられます。初期設定では、シャッターボタンを使わずに、画面上の被写体にタッチするだけでシャッターがきれます (P91)。



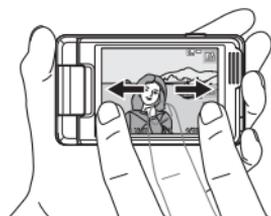
画像を再生する

- 1 再生モードアイコンをタッチして、再生モードにする



- 2 画面をドラッグして前後の画像を表示する

- 撮影に戻るには、画面の撮影モードアイコンをタッチするか、シャッターボタンを押します。



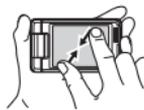
- 1コマ表示で  が表示されたときは、 をタッチすると画像に効果が付けられます。



- 1コマ表示で画像に2本の指を触れたまま指の間隔を広げると、拡大表示されます。



- 1コマ表示で画像に2本の指を触れたまま指の間隔をつまむように狭めると、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



画像を削除する

- 1 削除したい画像を表示して **MENU** をタッチし、[削除] をタッチする



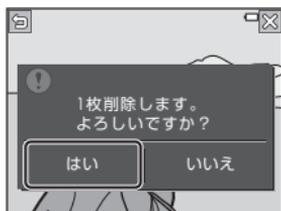
- 2 削除方法をタッチする

- 削除をやめるには、**X**をタッチします。



- 3 [はい] をタッチする

- 削除した画像は、元に戻せません。



✓ 連写した画像（連写グループ）の削除について

- 連写した画像は「連写グループ」として保存され、再生すると1コマ目（代表画像）のみを表示します（初期設定）。
- 代表画像の表示中に **MENU** をタッチして代表画像を削除すると、その連写グループの画像すべてが削除されます。
- 連写グループ内の画像を個別に削除するときには、**▶** をタッチして1コマずつに展開表示してから、**MENU** をタッチして表示画像を削除します。



削除画像選択画面の操作方法

1 削除したい画像をタッチして ✓ を表示する

- 選択を解除するときは、もう一度画像をタッチして ✓ を非表示にします。
- 液晶モニターを上下にドラッグすると、画面がスクロールします。
- ズームレバー (□1) を **T** (Q) 側に動かすと1コマ表示に、**W** (⊞) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。



2 削除したい画像すべてに ✓ を表示し、OK をタッチして選択を決定する

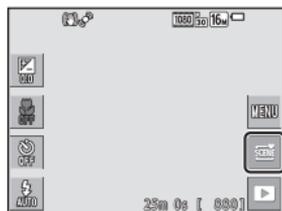
- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

撮影モードを変える

以下の撮影モードがあります。

- **おまかせシーン**
構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに適した撮影ができます。
- **シーン**
撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。
- **スペシャルエフェクト**
画像に効果を付けて撮影できます。
- **ベストフェイス**
カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター）。美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにできます。
- **メイクアップ**
人物の顔をきれいにさせるメイクアップ効果を付けて撮影できます。また、セルフコラージュでは4回または9回のインターバル撮影をした画像を1コマの画像として記録できます。
- **オート撮影**
基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変更できます。

1 撮影画面で撮影モードアイコンをタッチする



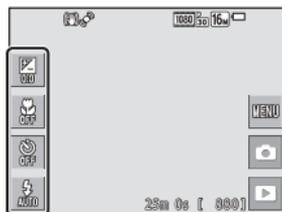
2 アイコンをタッチして撮影モードを選ぶ

- シーンモードまたはスペシャルエフェクトモードを選んだときは、次の画面でシーンまたは効果の種類を選びます。



フラッシュやセルフタイマーなどを使う

撮影画面でアイコンをタッチすると、以下の機能を設定できます。アイコンが非表示のときは **DISP** をタッチします。

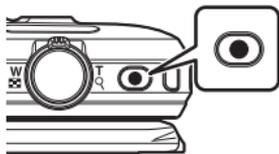


- **☑ 露出補正**
画像全体の明るさを調整できます。
- **🔍 マクロモード**
被写体に近づいて撮影するときに設定します。
- **🕒 セルフタイマー**
シャッターボタンを押してから10秒または2秒後にシャッターをきります。
- **⚡ フラッシュモード**
フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

設定できる機能は、撮影モードによって異なります。

動画を撮影する

- 撮影画面を表示し、●（動画撮影）ボタンを押すと撮影を開始します。終了するにはもう一度●ボタンを押します。
- 再生するには、再生モードの1コマ表示で動画を選び、▶をタッチします。



いろいろな撮影

SCENE (おまかせシーン) モード

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに適した撮影ができます。

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする → SCENE (おまかせシーン) モード

シーンを自動判別すると、撮影画面の撮影モードアイコンが切り換わります。

	ポートレート (1~2人程度のアップ)
	ポートレート (人数の多い場合や背景の面積が大きい場合)
	風景
	夜景ポートレート (1~2人程度のアップ)
	夜景ポートレート (人数の多い場合や背景の面積が大きい場合)
	夜景
	クローズアップ
	逆光 (人物以外の撮影)
	逆光 (人物撮影)
	その他の撮影シーン

- タッチ撮影で、ピントが合うエリアを変えられます (□□91)。人物やペットの顔を認識しているときは、顔認識して表示される枠のみタッチしてください。判別したシーンによっては、タッチ撮影ができない場合があります。

✓ SCENE (おまかせシーン) モードのご注意

- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください (□□22)。
- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別はSCENEになります。

SCENE (おまかせシーン) モードで設定できる機能

- フラッシュモード (□□43)
- セルフタイマー (□□45)
- 露出補正 (□□47)
- 画像モード (□□89)

シーンモード(シーンに合わせて撮影する)

撮影シーンを選ばると、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする → SCENE シーンモード → シーンを選択する

ポートレート※ ³ (初期設定)	クローズアップ※ ³ (□28)
風景※ ^{1, 2}	料理※ ³ (□28)
スポーツ※ ^{2, 3} (□27)	ミュージアム※ ^{2, 3} (□28)
夜景ポートレート※ ³ (□27)	打ち上げ花火※ ^{1, 4} (□29)
パーティー※ ^{2, 3} (□27)	モノクロコピー※ ^{2, 3} (□29)
ビーチ※ ^{2, 3}	手書きメモ (□29)
雪※ ^{2, 3}	逆光※ ^{2, 3} (□29)
夕焼け※ ^{2, 4}	かんたんパノラマ (□31)
トワイライト※ ^{1, 2, 4}	ペット※ ³ (□30)
夜景※ ^{1, 2} (□28)	

※1 ピントは遠景に合います。

※2 ピントは画面中央のエリアで合わせます。

※3 タッチ撮影で、ピントが合うエリアを変えられます (□91)。「ポートレート」、「夜景ポートレート」、「ペット」では、顔認識して表示される枠のみタッチしてください。

※4 シャッタースピードが遅くなるため、三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの「静止画手ブレ補正」(□131)を「しない」にしてください。

各シーンの説明を見るには (ヘルプ表示)

シーンを選ぶ画面で をタッチすると、「ヘルプ選択」画面になります。シーンのアイコンをタッチすると、それぞれのシーンの説明を表示できます。元の画面に戻るには、 をタッチします。

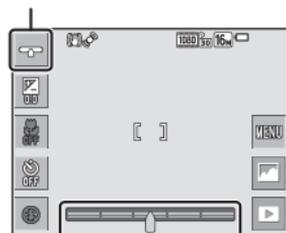


シーンエフェクトの調整

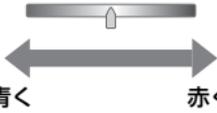
以下のシーンモードでは、 をタッチするとシーンエフェクト調整スライダーが表示されます。

- シーンエフェクト調整スライダーをタッチまたはドラッグして、シーンの効果を調整します。
- 調整が終わったら、 をタッチしてシーンエフェクト調整スライダーを非表示にしてください。

スライダー表示



シーンエフェクト調整スライダー

 料理	
 風景、  クローズアップ	
 夕焼け、  トワイライト	

シーンエフェクトの調整は電源をOFFにしても記憶されます。

ヒントとご注意

📷 スポーツ

- シャッターボタンを全押ししている間、約2コマ/秒の速さで約7コマまで連写できます（画像モードが📷のとき）。
- 画像モード、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1コマ目と同じ条件に固定されません。
- タッチシャッター（📷92）で撮影すると、1コマずつの撮影になります。

📷 夜景ポートレート

- 撮影画面で📷をタッチして、[夜景ポートレート]の[手持ち撮影]または[三脚撮影]を選びます。
- 📷 [手持ち撮影]（初期設定）：
 - 撮影画面の📷アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
 - 連写している間、被写体が動くと画像がゆがんだり、重なったり、ぼやけることがあります。
- 📷 [三脚撮影]：
 - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
 - セットアップメニューの[静止画手ブレ補正]（📷131）を[する]に設定していても、手ブレ補正を行いません。

📷 パーティー

- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの[静止画手ブレ補正]（📷131）を[しない]にしてください。

夜景

- 撮影画面で  をタッチして、[夜景] の [手持ち撮影] または [三脚撮影] を選びます。
-  [手持ち撮影] (初期設定) :
 - 撮影画面の  アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
 - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
-  [三脚撮影] :
 - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
 - セットアップメニューの [静止画手ブレ補正] ( 131) を [する] に設定していても、手ブレ補正を行いません。

クローズアップ

- マクロモード ( 46) がONになり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。

料理

- マクロモード ( 46) がONになり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。

ミュージアム

- シャッターボタンを押し続けると、最大10コマ連写し、最も鮮明に撮れている1コマだけをカメラが自動で選んで記録します (BSS (ベストショットセクター))。
- フラッシュは発光しません。
- タッチシャッター ( 92) で撮影すると、BSSは作動しません。

🌀 打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4秒に固定されます。
- 使用できるズーム位置は、4カ所に限定されます。

📷 モノクロコピー

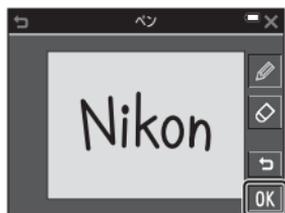
- 近くのを撮影するときは、マクロモード (📷46) を併用してください。

📷 逆光

- 撮影画面で **MENU** をタッチして、[HDR] (ハイダイナミックレンジ) の [する] または [しない] を撮影シーンに合わせて選びます。
- OFF [しない] (初期設定): 人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。
 - シャッターボタンを全押しすると、1コマ撮影します。
- ON [する]: 明暗差の大きい風景撮影に適しています。
 - シャッターボタンを全押しすると、高速で連写し、以下の2コマを記録します。
 - HDR合成していない画像
 - HDR合成した画像 (白とびや黒つぶれを抑えた画像)
 - 記録可能コマ数が1コマの場合は、撮影時にD-ライティング (📷70) で暗い部分を明るく補正し、1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
 - 保存される画像の画角 (写る範囲) は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。

📝 手書きメモ

- **📝** や **📌** を使って文字や絵を描き、**OK** をタッチすると、メモが保存されます。
- 保存される画像は 640×480 のサイズになります。



🐾 ペット

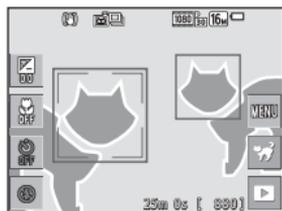
- 犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます（ペット自動シャッター）。
- 撮影画面で **MENU** をタッチして、**[連写]** の **[単写]** または **[連写]** を選びます。
 - **[S] [単写]**：犬または猫の顔を検出するたびに、1コマ撮影します。
 - **[連写]**：犬または猫の顔を検出するたびに、3コマ連写します。

✔ ペット自動シャッターについて

- 撮影画面で **MENU** をタッチして、**[ペット自動シャッター]** の **[する]** または **[しない]** を選びます。
 - **[ON] [する]**：犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます。
 - **OFF [しない]**：犬または猫の顔を検出しても、自動でシャッターはきれません。シャッターボタンを押してください。**[しない]** のときは、人物の顔も認識します。
- **[ペット自動シャッター]** は、連写で5回繰り返すと **[しない]** になります。
- **[ペット自動シャッター]** の設定にかかわらず、シャッターボタンを押しても撮影できます。
[連写] 設定時は、シャッターボタンを全押ししている間、連写できます。

✔ AFエリアについて

- 検出した顔は、黄色い枠で囲まれます。二重枠のAFエリア表示で囲まれた顔にピントが合うと、表示が緑色に変わります。顔を検出していないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- 撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。



かんたんパノラマの撮影方法

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする → **SCN** シーンモード → **かんたんパノラマ**

撮影する範囲を [標準 (180°)] (初期設定) または [ワイド (360°)] から選べます。 → 「撮影する範囲を変更するには」 (□32)

1 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ・ズーム位置は、広角側に固定されます。
- ・画面中央でピントが合います。



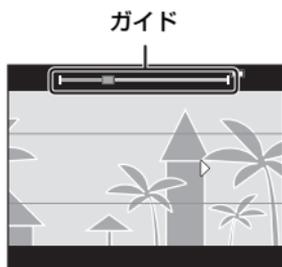
2 シャッターボタンを全押しし、シャッターボタンから指を離す

- ・カメラを動かす方向を示す \triangle ∇ \square \triangleright マークが表示されます。



3 カメラを4方向のいずれかに、ガイドの終端まで動かす

- ・カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
- ・設定の範囲を撮影し終わると撮影が終了します。
- ・ピントと露出は、撮影終了まで固定されません。



カメラの動かし方の例



- 撮影者を軸にして、カメラをマーク（△▽◇▷）と平行に、円弧を描くようにゆっくり動かします。
- ガイドが端まで到達しないまま、撮影開始から約15秒（[標準（180°）]時）、または約30秒（[ワイド（360°）]時）が経過すると撮影は終了します。

✓ **かんたんパノラマ撮影時のご注意**

- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいとき、または壁や暗闇など被写体に変化が少ないときなどはエラーになります。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。

📎 **撮影する範囲を変更するには**

- 撮影画面で **MENU** をタッチして、[かんたんパノラマ]の[標準（180°）]または[ワイド（360°）]を選びます。
- カメラを横位置で構えたときの画像サイズ（ヨコ×タテ）は、以下のとおりです。
 - **STANDARD** [標準（180°）]: 水平に移動時4800×920、垂直に移動時1536×4800
 - **WIDE** [ワイド（360°）]: 水平に移動時9600×920、垂直に移動時1536×9600



かんたんパノラマの再生方法

再生モードにして (□□19)、かんたんパノラマで撮影した画像を1コマ表示し、▶をタッチすると、撮影したときと同じ方向でスクロールします。

- 画面をドラッグすると、指の動きに合わせて表示範囲をスクロールすることもできます。



画面をタッチすると以下の操作ができます。

機能	操作	
一時停止		画面をタッチすると、一時停止します。
	手動スクロール	一時停止中に画面をドラッグすると、指の動きに合わせて表示画面をスクロールします。
	自動スクロール再開	一時停止中に画面をタッチすると、自動スクロールを再開します。
再生終了	◻をタッチします。	

✓ かんたんパノラマ画像についてのご注意

- このカメラでは画像編集はできません。
- このカメラ以外のかんたんパノラマで撮影した画像は、スクロール再生や拡大表示ができないことがあります。

✓ パノラマ写真をプリントするときのご注意

プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。

スペシャルエフェクトモード（効果を付けて撮影する）

画像に効果を付けて撮影できます。

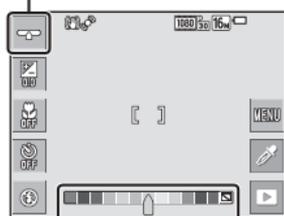
撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする →  スペシャルエフェクトモード → 効果を選択する →  をタッチする

種類	内容
SOFT ソフト*（初期設定）	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
SEPIA ノスタルジックセピア*	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
 硬調モノクローム*	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
HIGH ハイキー	画像全体を明るいトーンで表現します。
LOW ローキー	画像全体を暗いトーンで表現します。
 セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
POP ポップ	画像全体の色を鮮やかにし、明るい雰囲気にします。
VIVID 極彩色	画像全体の色を強調し、コントラストがはっきりした写真にします。
 トイカメラ風 1*	画像全体を黄色がかった色合いにし、さらに周囲を暗めに表現します。
 トイカメラ風 2*	画像全体の色を薄くし、さらに周囲を暗めに表現します。
 クロスプロセス	特定の色を基調にして、不思議な雰囲気を表現します。
 ミラー*	画像中心から左半分を反転して、左右対称な写真にします。

※ 選べない [動画設定] ( 116) があります。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- タッチ撮影で、ピントが合うエリアを変えられます (91)。
- [セレクトカラー] または [クロスプロセス] を選んだときは、スライダーをタッチまたはドラッグして色を選びます。
スライダーを表示または非表示するには、 をタッチします。

スライダー表示



スライダー

ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター（□□106））。美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにできます。

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする → ☺ ベストフェイスモード

1 構図を決める

- 人物の顔にカメラを向けてください。

2 シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- 笑顔を検出するたびに自動撮影を繰り返します。

3 自動撮影を終了する

- 以下のいずれかの操作で終了します。
 - [笑顔自動シャッター] を [しない] にする
 - 撮影モードアイコンをタッチして他の撮影モードに切り換える

✔ ベストフェイスモードについてのご注意

撮影条件などによっては、適切に顔認識や笑顔検出ができないことがあります（□□50）。シャッターボタンを押しても撮影できます。

📎 セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

ベストフェイスモードで設定できる機能

- フラッシュモード（□□43）
- セルフタイマー（□□45）
- 露出補正（□□47）
- ベストフェイスメニュー（□□105）

メイクアップモード（顔をよりきれいに撮影する）

人物の顔をきれいにさせるメイクアップ効果を付けて撮影できます。

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする → メイクアップモード

1 をタッチする



2 効果を付ける

- アイコンをタッチして、効果を選びます。
- スライダーをタッチまたはドラッグして、効果の度合いを調節します。
- 同時に複数の効果が付けられます。
 [美肌]、 [美白]、 [ソフト]、
 [鮮やかさ]
- すべての効果を確認したら、をタッチします。

効果



スライダー

3 構図を決め、シャッターボタンを押す

メイクアップモードについてのご注意

- 撮影画面の画像と保存した画像では、効果の度合いが異なる場合があります。
- [ソフト] を設定すると、選べない [動画設定] (116) があります。

メイクアップモードで設定できる機能

- フラッシュモード (43)
- セルフタイマー (45)
- 露出補正 (47)
- メイクアップメニュー (108)

セルフコラージュを使う

4回または9回のインターバル撮影をした画像を1コマの画像として記録できます（コラージュ画像）。

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする →  メイクアップモード

1 をタッチする

- 確認画面が表示されます。
-  をタッチする前に、 をタッチして [セルフコラージュ] を選択すると、[撮影回数]、[撮影間隔]、[シャッター音の設定] が設定できます（[□□108](#)）。
- メイクアップ効果を付けて撮影する場合は、先に設定してください（[□□37](#)）。



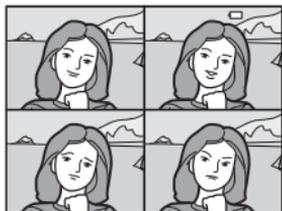
2 1回目の撮影をする

- 確認画面で  をタッチすると、カウントダウン（約5秒）が始まり、自動的にシャッターがきれます。
- 画面に撮影する回数分の  が表示されます。撮影中は緑色で表示され、撮影後は白色になります。



3 2回目以降の撮影をする

- 設定した間隔をあけて自動的にシャッターがきれます。
- 撮影の約3秒前になると、カウントダウンが始まります。
- 設定した回数の撮影が終わると、撮影を終了します。
- 撮影した画像はコラージュ画像とは別に1コマずつ保存されます。1コマ画像は連写グループとして扱われ、右の画面のようなコラージュ画像が代表画像となります（[□□66](#)）。



📷 (オート撮影) モード

基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変更できます。

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする → 📷 (オート撮影) モード

- ピント合わせをするエリアは、[AFエリア選択] (📄101) の設定によって異なります。
初期設定は、[ターゲットファインドAF] (📄52) です。
- タッチ撮影で、ピントが合うエリアを変えられます (📄91)。

📷 (オート撮影) モードで設定できる機能

- フラッシュモード (📄43)
- セルフタイマー (📄45)
- マクロモード (📄46)
- 露出補正 (📄47)
- 撮影メニュー (📄89)

クイックエフェクトを使う

📷（オート撮影）モードでは、シャッターをきったすぐ後に、撮影した画像に効果を付けられます。

- 効果を付けた画像は、撮影した画像とは別に、異なるファイル名で保存されます。

1 📷（オート撮影）モードで静止画を撮影した後に表示される画面で、👉をタッチする

- 無操作で約5秒経過すると撮影画面に戻ります。
- 撮影メニューの [クイックエフェクト] (📄104) を [しない] にすると、右の画面を表示しないようにできます。



2 付けたい効果をタッチし、OKをタッチする

- ズームレバー (📄1) を T (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (📄) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 効果の種類→「クイックエフェクト (色合いや雰囲気を変える)」(📄68)
- 1コマ表示画面でOKをタッチした場合は、手順4に進んでください。



3 効果を確認し、OKをタッチする

- 効果を付けた画像を保存せずに終了するには、✕をタッチします。



4 [はい] をタッチする

✔ クイックエフェクトについてのご注意

Wi-Fi接続中はクイックエフェクトが無効になります。

ジェスチャー操作でセルフタイマー撮影をする

カメラが手の動きを認識して自動で撮影します。自分撮りをするときや少し離れた場所から撮影するとき便利です。

1 液晶モニターを開き、カメラのレンズ面と同じ方向に向ける (図2)

- 画面に  が表示されます。ジェスチャー操作が使えない撮影モードのときは、 は表示されません。
- 少し離れた場所から撮影する場合は、カメラスタンド (図3) などを使って、カメラを安定した場所に置いてください。



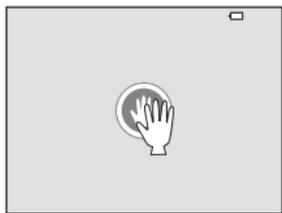
2 をタッチする

- 確認画面で  をタッチすると、画面に  (手のひら検出枠) が表示されます。



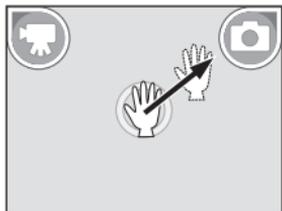
3 と重なるように、カメラに向かって手をかざす

- カメラが手のひらを認識すると  が  に変わり、画面に  (静止画撮影) と  (動画撮影開始) が表示されます。



4 が または と重なるように手を動かす

- カウントダウン (約3秒) 後に撮影します。
- 動画撮影を終了するには、カメラ本体の  (動画撮影) ボタンを押します。
撮影した動画の不要な部分をカットするには、「動画の必要な部分だけを切り出す」(図85) をご覧ください。
- 撮影が終了すると、手順3に戻ります。



✓ ジェスチャー操作についてのご注意

- 撮影条件によっては、適切に手のひらや手の動きを検出できないことがあります。
- 手を動かすときは、手のひらを垂直にカメラと向かい合わせ、そのまま移動してください。
- 以下の撮影モードでは、ジェスチャー操作は使えません。
 - シーンモード（[ポートレート]、[夜景ポートレート]、[パーティー]、[逆光]を除く）
 - スペシャルエフェクトモード
- ジェスチャー操作時には、以下の機能が制限されます。

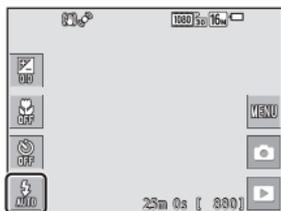
制限される機能	内容
セルフタイマー (□□45)、ピクチャーカラー (□□100)、AF エリア選択 (□□101)、クイックエフェクト (□□104)、笑顔自動シャッター (□□106)、AF補助光 (□□133)、電子ズーム (□□133)	使用できません。
鮮やかさ (□□37)	ジェスチャー操作開始前に、[鮮やかさ]の効果の度合いを最も低く設定していた場合、標準（初期設定）の値に固定されます。
ホワイトバランス (□□94)	ジェスチャー操作開始前に、[電球]、[蛍光灯]を設定していた場合、[オート]に固定されます。
連写 (□□96)	ジェスチャー操作開始前に、[連写H]、[連写L]、[先取り撮影]、[BSS]を設定していた場合、[単写]に固定されます。
モニター設定 (□□128)	[モニター表示設定]は[情報ON]に固定されます。
オートパワーオフ (□□134)	ジェスチャー操作開始前に、[30秒]、[1分]を設定していた場合、[5分]に固定されます。

- ジェスチャー操作後に液晶モニターをカメラ背面に向けると、制限されていた機能は元の設定に戻ります（ジェスチャー操作時に設定を変更しなかった場合）。

フラッシュモード

フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

1 フラッシュモードアイコンをタッチする



2 アイコンをタッチしてフラッシュモードを選ぶ

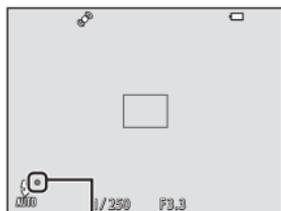
- 設定を変更せずに撮影画面に戻るには、**X**をタッチします。



フラッシュ表示について

シャッターボタンを半押しすると、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
- 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
- 消灯：発光しません。



フラッシュ表示

フラッシュモードの種類

AUTO 自動発光

暗い場所などで、必要に応じてフラッシュを発光します。

赤目軽減自動発光

フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

③ 発光禁止

フラッシュは発光しません。

- 暗い場所で撮影するときは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。

強制発光

常にフラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。

SLOW スローシンクロ

夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。自動発光でメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります（□48）。
- （オート撮影）モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

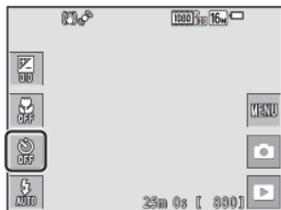
画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。撮影する際は、以下にご注意ください。

- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- まれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマー

シャッターボタンを押してから10秒または2秒後にシャッターをきります。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの[静止画手ブレ補正] (□131) を [しない] にしてください。

1 セルフタイマーアイコンをタッチする



2 [10秒] または [2秒] をタッチする

- [10秒]：記念撮影などに適しています。
- [2秒]：手ブレの軽減に適しています。
- 設定を変更せずに撮影画面に戻るには、**X** をタッチします。

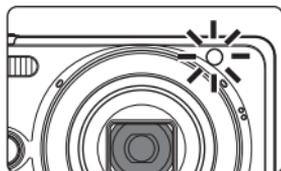
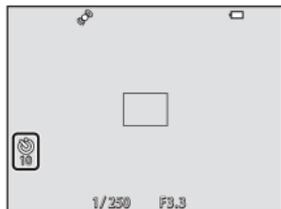


3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

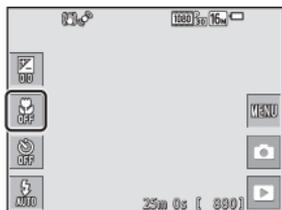
- カウントダウンが始まります。セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは [しない] になります。
- カウントダウンを止めるには、もう一度シャッターボタンを押します。



マクロモード（接写する）

被写体に近づいて撮影するときに設定します。

1 マクロモードアイコンをタッチする



2 [する] をタッチする

- 設定を変更せずに撮影画面に戻るには、**×**をタッチします。



3 ズームレバーを動かし、△マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする

- 緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。
△マークのズーム位置では、レンズ前約2 cmまでの被写体にピント合わせができます。



✓ フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

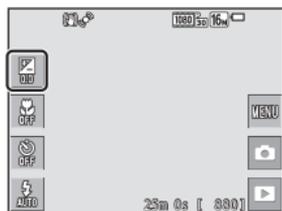
📎 マクロモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります（[Q48](#)）。
- 📷（オート撮影）モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

露出補正（明るさを調節する）

画像全体の明るさを調整できます。

1 露出補正アイコンをタッチする



2 スライダーをタッチまたはドラッグして補正值を変更し、OKをタッチする

- 明るくする：「+」側に設定します。
- 暗くする：「-」側に設定します。
- **OK**をタッチしなくても、補正值が設定されます。



露出補正の設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります（48）。
- （オート撮影）モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

フラッシュやセルフタイマーなどの初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュ (□43)	セルフタイマー (□45)	マクロ (□46)	露出補正 (□47)
(おまかせシーン)	⚡AUTO※ ¹	OFF	OFF※ ²	0.0
シーン				
(ポートレート)	⚡👁️	OFF	OFF※ ³	0.0
(風景)	🌄※ ³	OFF	OFF※ ³	0.0
(スポーツ)	🏃※ ³	OFF※ ³	OFF※ ³	0.0
(夜景ポートレート)	🌃※ ⁴	OFF	OFF※ ³	0.0
(パーティー)	🎉※ ⁵	OFF	OFF※ ³	0.0
(ビーチ)	⚡AUTO	OFF	OFF※ ³	0.0
(雪)	⚡AUTO	OFF	OFF※ ³	0.0
(夕焼け)	🌇※ ³	OFF	OFF※ ³	0.0
(トワイライト)	🌆※ ³	OFF	OFF※ ³	0.0
(夜景)	🌃※ ³	OFF	OFF※ ³	0.0
(クローズアップ)	📷	OFF	ON※ ³	0.0
(料理)	🍴※ ³	OFF	ON※ ³	0.0
(ミュージアム)	🏛️※ ³	OFF	OFF	0.0
(打ち上げ花火)	🎆※ ³	OFF※ ³	OFF※ ³	0.0※ ³
(モノクロコピー)	🖨️	OFF	OFF	0.0
(手書きメモ)	—	—	—	—
(逆光)	⚡※ ⁶ 、🌞※ ⁶	OFF	OFF※ ³	0.0
(かんたんパノラマ)	🌄※ ³	OFF※ ³	OFF※ ³	0.0

	フラッシュ ()43)	セルフタイマー ()45)	マクロ ()46)	露出補正 ()47)
 (ペット)	 ※3	OFF※3	OFF	0.0
 (スペシャルエフェクト)	 ※3	OFF	OFF	0.0
 (ベストフェイス)	 AUTO※7	OFF※8	OFF※3	0.0
 (メイクアップ)	 AUTO	OFF	OFF※3	0.0
 (オート撮影)	 AUTO	OFF	OFF	0.0

- ※1 判別したシーンに合わせて、カメラが自動でフラッシュモードを設定します。 (発光禁止) に変更できます。
- ※2 変更できません。 に判別されるとマクロモードになります。
- ※3 変更できません。
- ※4 変更できません。赤目軽減で強制発光します。
- ※5 赤目軽減スローシンクロに切り換わる場合があります。
- ※6 [HDR] が [しない] のときは (強制発光) に、[HDR] が [する] のときは (発光禁止) に固定されます。
- ※7 [目つぶり軽減] が [する] のとき、および [笑顔自動シャッター] が [する (連写)] または [する (BSS)] のときは使えません。
- ※8 [笑顔自動シャッター] を [しない] にすると設定できます。

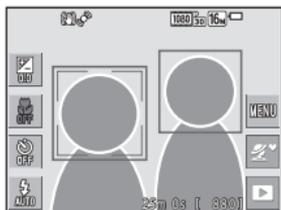
ピント合わせについて

ピントを合わせる位置（AFエリア）は、撮影モードによって異なります。

顔認識撮影について

以下の撮影モードでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

- （おまかせシーン）モード（[124](#)）の [ポートレート]、 [夜景ポートレート] または [逆光]
- シーンモード（[125](#)）の [ポートレート]、[夜景ポートレート]
- ベストフェイスモード（[136](#)）
- メイクアップモード（[137](#)）
- （オート撮影）モード（[139](#)）で [AFエリア選択]（[101](#)）を [顔認識オート] に設定時



複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しした場合：

- （おまかせシーン）モードでは、撮影シーンによってAFエリアが変わります。
- [ポートレート]、[夜景ポートレート]、ベストフェイスモード、またはメイクアップモードでは、画面中央にピントが合います。
- （オート撮影）モードでは、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。

顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
- 以下のような場合は、顔を認識できません。
 - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
 - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている

美肌機能について

以下の撮影モードでは、シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し、画像処理で肌（顔）をなめらかにします（最大3人）。

- ベストフェイスモード (□□36)
 - [美肌効果] で効果の度合いを設定できます。
- メイクアップモード (□□37)
 - [美肌] で効果の度合いを設定できます。
-  (おまかせシーン) モード (□□24) の [ ポートレート]、 [ 夜景ポートレート] または [ 逆光]
- シーンモード (□□25) の [ポートレート]、[夜景ポートレート]

撮影後にも、記録した画像に [メイクアップ効果] で [美肌] などの編集ができます (□□71)。

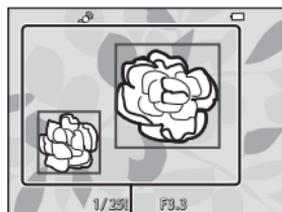
美肌機能についてのご注意

- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。

ターゲットファインドAFについて

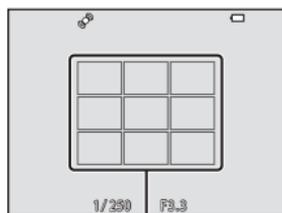
📷 (オート撮影) モードの [AFエリア選択] (□□101) が [ターゲットファインドAF] のときは、シャッターボタンを半押しすると、以下の動作でピントを合わせます。

- カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます。ピントが合うと、AFエリア表示が緑色に点灯します。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。



AF エリア

- カメラが主要な被写体を検出していないときは、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。



AF エリア

✔ ターゲットファインドAFについてのご注意

- どの被写体を主要被写体とみなして検出するかは、撮影条件によって異なります。
- [ホワイトバランス] の設定によっては、主要被写体を検出できないことがあります。
- 以下のような場合、カメラが主要被写体を適切に検出できないことがあります。
 - 被写体が非常に暗い、または明るい
 - 主要被写体の色に特徴が少ない
 - 主要被写体が画面の周辺部にある
 - 主要被写体が同じパターンを繰り返す

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（□54）をお試しください。

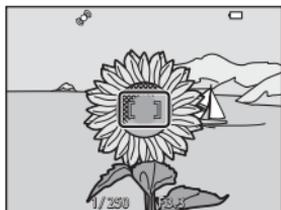
フォーカスロック撮影

ピントを合わせたい被写体にAFエリアが合わない場合は、フォーカスロック撮影をおすすめします。

- 1  (オート撮影) モードで [AFエリア選択] を [中央] に設定する (☞101)

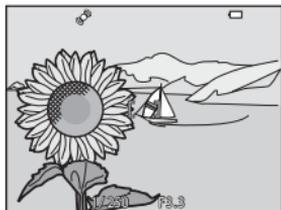
- 2 被写体を画面中央に配置し、シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AFエリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。



- 3 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。



- 4 シャッターボタンを全押しして撮影する



撮影時に組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	連写 (□□96)	[単写] 以外にすると、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減 (□□107)	[目つぶり軽減] を [する] に設定すると、フラッシュは使えません。
	笑顔自動シャッター (□□106)	[する (連写)] または [する (BSS)] に設定すると、フラッシュは使えません。
セルフタイマー	笑顔自動シャッター (□□106)	[笑顔自動シャッター] にすると、セルフタイマーは使えません。
	AFエリア選択 (□□101)	[ターゲット追尾] にすると、セルフタイマーは使えません。
マクロモード	AFエリア選択 (□□101)	[ターゲット追尾] にすると、マクロモードは使えません。
画像モード	連写 (□□96)	連写の設定によって、[画像モード] は以下に固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [高速連写 120 fps] 時： VGA (画像サイズ：640×480 ピクセル) • [高速連写 60 fps] 時： 1M (画像サイズ：1280×960 ピクセル) • [マルチ連写] 時： 5M (画像サイズ：2560×1920 ピクセル)
タッチ撮影	笑顔自動シャッター (□□106)	[笑顔自動シャッター] で撮影するときは、[タッチ撮影] は使えません。
	ペット自動シャッター (□□30)	[ペット自動シャッター] で撮影するときは、[タッチ撮影] は使えません。
	AFエリア選択 (□□101)	[ターゲット追尾] にすると、[タッチ撮影] は使えません。

制限される機能	設定	内容
ホワイトバランス	ピクチャーカラー (□100)	[白黒]、[セピア]、または [クール] にすると、[ホワイトバランス] は [オート] に固定されます。
連写	セルフタイマー (□45)	[先取り撮影] に設定時、セルフタイマーにすると、[単写] に固定されます。
	タッチシャッター (□92)	[マルチ連写] 以外は、タッチシャッターを使うと1コマずつの撮影になります。
ISO感度設定	連写 (□96)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] にすると、[ISO感度設定] は [オート] に固定されます。
AFエリア選択	ホワイトバランス (□94)	[ターゲットファインドAF] 時、[ホワイトバランス] を [オート] 以外にすると、主要な被写体は検出しません。
クイックエフェクト	連写 (□96)	連写のときは、撮影時のクイックエフェクト機能は使えません。
笑顔自動シャッター	目つぶり軽減 (□107)	[目つぶり軽減] を [する] に設定すると、[笑顔自動シャッター] の [する (連写)] または [する (BSS)] は [する (単写)] に固定されます。
目つぶり軽減	笑顔自動シャッター (□106)	[笑顔自動シャッター] を [する (連写)] または [する (BSS)] に設定すると、[目つぶり軽減] は [しない] に固定されます。
モニター設定	クイックエフェクト (□104)	静止画撮影時に [クイックエフェクト] を [する] に設定すると、[撮影後の画像表示] の設定にかかわらず、撮影後に、撮影した画像を表示します。
日付写し込み	連写 (□96)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] にすると、日時を写し込みません。

制限される機能	設定	内容
モーション検知	連写 (☞96)	[単写] 以外にすると、[モーション検知] は作動しません。
	ISO感度設定 (☞99)	ISO感度を [オート] 以外にすると、[モーション検知] は作動しません。
	AFエリア選択 (☞101)	[ターゲット追尾] にすると、[モーション検知] は作動しません。
	笑顔自動シャッター (☞106)	[する (連写)] または [する (BSS)] に設定すると、[モーション検知] は作動しません。
目つぶり検出設定	連写 (☞96)	[単写] 以外にすると、目つぶり検出をしません。
電子ズーム	AFエリア選択 (☞101)	[ターゲット追尾] にすると、電子ズームは使えません。
シャッター音	連写 (☞96)	[単写] 以外にすると、シャッター音は鳴りません。

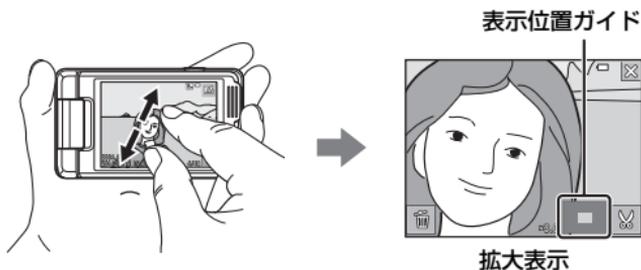
✓ 電子ズームについてのご注意

- 撮影モードや設定によっては、電子ズームを使えません (☞133)。
- 電子ズーム使用時は、画面中央でピント合わせを行います。

いろいろな再生

拡大表示

再生モードの1コマ表示（□19）で画像に2本の指を触れたまま指の間隔を広げると、拡大表示されます。



- ズームレバーを**T (Q)**側に動かすか、画像を2回すばやくタッチしても拡大表示します。
- 指の動き（広げる/つまむ）に合わせて拡大率を調整できます。ズームレバー（**T (Q)** / **W (Z)**）を動かしても調整できます。
- 表示位置を移動するには、画像をドラッグします。
- ズームレバーを動かして拡大表示した場合、顔認識またはペット検出して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します（連写した画像を除く）。複数の顔を認識していたときは、**Ⓜ**または**Ⓝ**をタッチすると表示する顔が切り換わります。
- **✂**をタッチすると、画像を削除できます。
- **✕**をタッチするか、画像を2回すばやくタッチすると、1コマ表示に戻ります。

画像をトリミングするには

拡大表示中に**✂**をタッチすると、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます（□79）。

サムネイル表示/カレンダー表示

再生モードの1コマ表示（□19）で画像に2本の指を触れたまま指の間隔をつまむように狭めると、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



- ズームレバーを**W** (☒) 側に動かしても、サムネイル表示になります。
- 指の動き（広げる/つまむ）に合わせて表示コマ数を変更できます。ズームレバー（**T** (Q) / **W** (☒)) を動かしても変更できます。
- 液晶モニターを上下にドラッグすると、画面がスクロールします。
- サムネイル表示で画像をタッチすると、タッチした画像を1コマ表示します。
- カレンダー表示で日付をタッチすると、その日に撮影した画像に移動して表示します。

☑ カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2014年1月1日」の画像として扱われます。

お気に入り再生モード

撮影した画像（動画を除く）をお気に入りに登録すると、登録した画像だけを再生できます。

- 9つあるフォルダーに分類できます。1つのフォルダーには、最大200コマを登録できます。
- 元画像はコピーや移動はされません。
- 同じ画像を複数のフォルダーに登録できます。

お気に入りフォルダーに画像を登録する

再生モードアイコンをタッチする（再生モード※）→ **MENU** をタッチする → **お気に入り登録**

※ お気に入り再生モードでは登録できません。

1 登録したい画像をタッチして **✓** を付ける

- 複数の画像を選択できます。選択を解除するには、もう一度画像をタッチして **✓** を外します。
- ズームレバー（**Q**）を **T**（**Q**）側に動かすと1コマ表示に、**W**（**Q**）側に動かすと一覧表示に切り換わります。



2 設定が終わったら、**OK**をタッチする

3 登録したいフォルダーをタッチする



4 **[はい]** をタッチする

- 登録が完了します。

お気に入りフォルダーの画像を再生する

再生画面にする → 再生モードアイコンをタッチする →  お気に入り再生

表示したいお気に入りフォルダーをタッチすると、選んだフォルダー内の画像を再生します。

- 選んだフォルダー内の画像を対象に、再生メニュー（)の機能が使えます（[画像コピー]、[お気に入り登録]を除く）。
-  をタッチすると、選んだフォルダーのアイコンを変更できます（）。



削除についてのご注意

お気に入り再生モードで画像を削除すると、元画像が削除されます。登録を解除するときは、「お気に入りフォルダーの画像登録を解除する」（62）をご覧ください。

お気に入りフォルダーの画像登録を解除する

★お気に入り再生モードにする → 登録を解除したいフォルダーをタッチする → **MENU** をタッチする → ★お気に入り解除

1 解除したい画像をタッチして ✓ を外す

- 複数の画像を選択できます。選択を解除するには、もう一度画像をタッチして ✓ を付けます。
- ズームレバー (□1) を **T** (Q) 側に動かすと1コマ表示に、**W** (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。



2 設定が終わったら、**OK**をタッチする

3 **[はい]** をタッチする

- 解除をやめるときは、**[いいえ]** をタッチします。

お気に入りフォルダーのアイコンを変更する

再生画面にする → 再生モードアイコンをタッチする →  お気に入り再生

1 をタッチする



2 アイコンとアイコンの色を選ぶ

- タッチしてアイコンを選びます。
- スライダーをタッチまたはドラッグしてアイコンの色を選びます。
- **OK** をタッチします。



3 変更したいフォルダーをタッチする

- アイコンが変更されます。



オート分類再生モード

撮影画像は、撮影時の設定に応じて人物、風景、動画などの項目別に自動分類されます。

再生画面にする → 再生モードアイコンをタッチする →  オート分類再生

表示したい分類をタッチすると、選んだ分類の画像を再生します。

- 選んだ分類の画像を対象に、再生メニュー（)の機能が使えます（[画像コピー]、[お気に入り解除]を除く）。



オート分類再生モードについてのご注意

- 1つの分類で表示できるのは、最大999コマです。
- このカメラ以外で記録した画像や動画は、オート分類再生モードで表示できません。

撮影日一覧モード

再生画面にする → 再生モードアイコンをタッチする →  撮影日一覧

表示したい日付をタッチすると、選んだ撮影日の画像を再生します。

- 選んだ撮影日の画像を対象に、再生メニュー（109）の機能が使えます（[画像コピー]、[お気に入り解除]を除く）。



サムネイル	日付	枚数
	2014/11/20	3
	2014/11/15	2
	2014/11/10	1
	2014/11/05	10

撮影日一覧モードについてのご注意

- 選べる撮影日は、最新の撮影日から過去 29 日分までです。それ以前の画像は、[過去画像] に分類されます。
- 表示できる画像は、最新の画像から9,000コマまでです。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、「2014年1月1日」の画像として扱われます。

連写した画像(連写グループ)の再生と削除

連写グループの再生方法

連写した画像やセルフコラージュで撮影した画像は「連写グループ」として保存されます。

1コマ表示やサムネイル表示では、グループ内の1コマ目を代表画像として表示します(初期設定)。セルフコラージュで撮影した画像の場合は、コラージュ画像を代表画像として表示します。

グループ内の画像を1コマずつ表示するには、**▶**をタッチします。

▶をタッチしたあとの操作方法は、以下のとおりです。

- 画像を切り換えるには、画像を左右にドラッグします。
- 表示しているグループ以外の画像を見るには、**☐**をタッチし、代表画像の表示に戻します。
- 連写グループ内の画像をサムネイル表示やスライドショーで再生したいときは、再生メニュー **[連写グループ表示方法]** を **[1枚ずつ]** にしてください(☐114)。



✓ 連写グループの表示方法について

このカメラ以外で連写した画像は、連写グループとして表示できません。

📎 連写グループで使える再生メニュー

- グループ内画像の1コマ表示中に **MENU** をタッチすると、再生メニュー(☐109)の機能が選べます。
- 代表画像で **MENU** をタッチすると、そのグループ内の画像すべてに、以下の設定ができます。
 - お気に入り登録、Wi-Fi送信画像の指定、プロテクト設定、画像コピー

連写グループの画像を削除する

連写グループでは、 をタッチしてメニュー画面を表示し [削除] を選ぶと、表示している画像によって削除される対象が異なります。

- 代表画像の表示中：
 - [表示画像]：表示しているグループ内の画像をすべて削除します。
 - [削除画像選択]：削除画像の選択画面（21）で代表画像を選ぶと、そのグループ内の画像をすべて削除します。
 - [全画像]：メモリーカードまたは内蔵メモリー内の画像をすべて削除します。
- グループ内画像の1コマ表示中：
 - [表示画像]：表示している1コマを削除します。
 - [削除画像選択]：グループ内の画像を選択して削除します。
 - [表示グループ]：表示しているグループ内の画像をすべて削除します。

画像の編集（静止画）

画像編集の前に

このカメラでは画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます。

編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。

画像編集の制限

- 画像は10回まで編集できます。動画編集で作成した静止画は9回まで編集できません。
- 画像サイズや編集の種類によっては、編集できないことがあります。

クイックエフェクト（色合いや雰囲気を変える）

クイックエフェクトの種類	内容
ポップ/極彩色	主に色を強調して効果を付けます。
絵画調/ハイキー/トイカメラ風 1/ トイカメラ風 2/ローキー/ クロスプロセス（赤）/クロスプロセス（黄）/ クロスプロセス（緑）/クロスプロセス（青）	主に色合いを変化させ、雰囲気の異なる画像にします。
フォトイラスト/ソフト/ ソフトポートレート/ 背景モノクロポートレート/魚眼効果/ クロススクリーン/ミニチュア効果	画像を加工して、さまざまな効果を付けます。
硬調モノクローム/セピア/クール/ セレクトカラー	カラーの画像を1色で表現します。セレクトカラーは、特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。

- 1 効果を付けたい画像を1コマ表示して、をタッチする



2 付けたい効果をタッチして選び、**OK**をタッチする

- ・ズームレバー (1) を **T** (Q) 側に動かすと1コマ表示に、**W** (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- ・1コマ表示画面で **OK** をタッチした場合は、手順4に進んでください。



3 効果を確認し、**OK**をタッチする

- ・効果を付けた画像を保存せずに終了するには、**X**をタッチします。



4 [はい] をタッチする

- ・編集画像が作成されます。

簡単レタッチ (コントラストと鮮やかさを高める)

再生画面にする → 画像を選ぶ → **MENU** をタッチする → **簡単レタッチ**

1 効果の度合いをタッチして選び、**OK**をタッチする



2 [はい] をタッチする

- ・編集画像が作成されます。

D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）

再生画面にする → 画像を選ぶ → **MENU** をタッチする → **D-ライティング**

1 **OK** をタッチする

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。



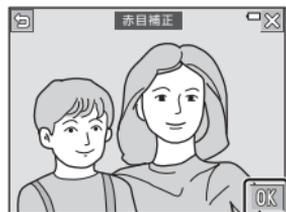
2 **はい** をタッチする

- 編集画像が作成されます。

赤目補正（フラッシュ撮影による赤目を補正する）

再生画面にする → 画像を選ぶ → **MENU** をタッチする → **赤目補正**

1 **OK** をタッチする



2 **はい** をタッチする

- 編集画像が作成されます。

✓ 赤目補正についてのご注意

- カメラが赤目現象を検出できない画像は補正されません。
- ペット（犬または猫）の場合、目の色が赤以外の場合でも補正されます。
- 画像によっては、望ましい結果が得られないことがあります。
- まれに赤目以外の部分が補正されることがあります。

メイクアップ効果（人物の顔をきれいに見せる）

再生画面にする → 画像を選ぶ → **MENU** をタッチする → **メイクアップ効果**

1 **人物** または **顔** をタッチして編集する人物を選び、**OK** をタッチする

- 肌、目、口の部位に枠が表示されます。
- 検出した顔が1人のときは、手順2へ進んでください。



2 編集する部位をタッチする

- 選んだ部位の編集画面が表示されます。
- 人物の選択画面に戻るには、**人物** をタッチします。



3 効果を付ける

- アイコンをタッチして、効果を選びます。
- スライダーをタッチまたはドラッグして、効果の度合いを調節します。
- 同時に複数の効果を付けられます。

肌: [小顔]、 [美肌]、 [美白]、 [テカリ軽減]、 [チーク]

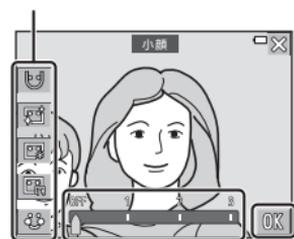
目: [クマ軽減]、 [ビッグアイ]、 [ホワイトアイ]、 [アイシャドウ]、 [マスカラ]

口: [歯のホワイトニング]、 [リップカラー]

編集する部位を変えるには、**OK** をタッチし、手順2の画面で部位を選択しなおしてください。

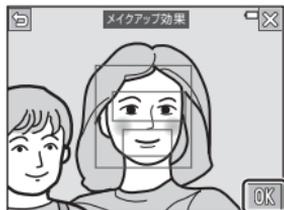
- すべての効果を確認したら、**OK** をタッチします。

効果



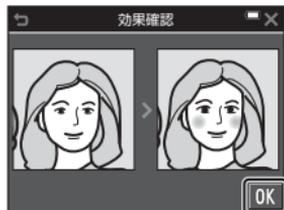
スライダー

4 **OK**をタッチする



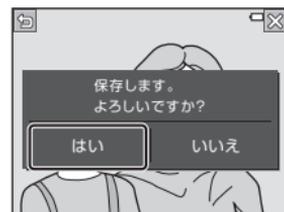
5 効果を確認し、**OK**をタッチする

- 設定をやり直すには、**☰**をタッチして手順2に戻ります。
- 効果を付けた画像を保存せずに終了するには、**✕**をタッチします。



6 **【はい】** をタッチする

- 編集画像が作成されます。



✓ **メイクアップ効果についてのご注意**

- メイクアップ効果で一度に編集できる顔は1人のみです。
- 顔の向きや明るさなどによっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。
- 顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、再生メニューに戻ります。
- ISO感度が1600以下の条件で撮影した画像、および画像サイズが640×480以上の画像のみ、メイクアップ効果の編集ができます。

ペイント（画像に文字や絵を描く）

再生画面にする → 画像を選ぶ → **MENU** をタッチする → **ペイント**

1 **ペイント** を使ってペイントする

- ペイントツールの使い方 → **74**
- ズームレバーを **T (Q)** 側に動かすと、画像を拡大表示できます。表示範囲を移動するには、**▲▼◀▶** をタッチします。拡大表示を終了するには、ズームレバーを **W** (☒) 側に動かします。
- **☒** をタッチするとひとつ前の状態に戻ります（最大5回前まで）。



2 **OK** をタッチする

- ペイントした内容を保存せずに終了するには、**X** をタッチします。



3 **はい** をタッチする

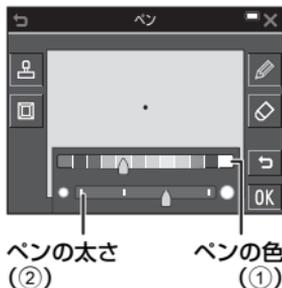
- 編集画像が作成されます。
- 保存される画像サイズは、以下のとおりです。
 - [4M 2272×1704]** 以上の画像：2272×1704 のサイズ
 - [2M 1600×1200]** 以下の画像：640×480 のサイズ
 - [16:9 12M 4608×2592]** の画像：1920×1080 のサイズ
 - [12M 3456×3456]** の画像：1080×1080 のサイズ

ペイントツールの使い方

文字や絵を描く

✎ をタッチすると、文字や絵を描けます。
パレットを閉じるには、✎ か画像をタッチします。

- ① のスライダーをタッチまたはドラッグすると、ペンの色を選べます。
- ② のスライダーをタッチすると、ペンの太さを選べます。



文字や絵を消す

✎ をタッチすると、画像に描いた線やスタンプを消せます。

パレットを閉じるには、✎ か画像をタッチします。

- スライダーをタッチすると、消しゴムの大きさを選べます。



スタンプを押す

📄 をタッチすると、スタンプを押せます。
パレットを閉じるには、📄 か画像をタッチします。

- 「スタンプの種類」は、15種類から選べます。
- スライダーをタッチすると、スタンプのサイズを選べます。



フレームを付ける

📄 をタッチすると、画像にフレームを付けられます。

- ◀ ▶ をタッチすると、9種類のフレームが順番に表示されます。



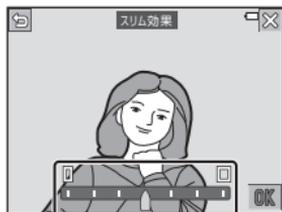
✓ 撮影日スタンプについてのご注意

- 日付の並びは、セットアップメニューの「地域と日時」の「日付の表示順」(□□126)での設定と同じになります。
- スタンプできる日付は、撮影時点でカメラに設定されていた日付です。スタンプする日付は変更できません。
- 画像サイズが小さいと、日付が読みにくいことがあります。

スリム効果 (画像を伸縮させる)

再生画面にする → 画像を選ぶ → **MENU** をタッチする → **+** スリム効果

- 1 スライダーをタッチまたはドラッグして、スリム効果を調節する



- 2 **OK** をタッチする

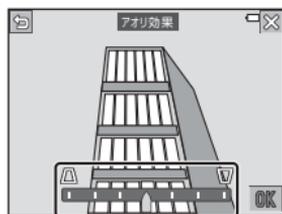


- 3 **【はい】** をタッチする
 - 編集画像が作成されます。

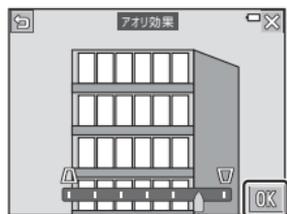
アオリ効果（遠近効果をつける）

再生画面にする → 画像を選ぶ → **MENU** をタッチする → **▲** アオリ効果

- 1 スライダーをタッチまたはドラッグして、アオリの効果を調節する



- 2 **OK** をタッチする



- 3 **【はい】** をタッチする
 - 編集画像が作成されます。

セレクトソフト（背景をぼかす）

再生画面にする → 画像を選ぶ → **MENU** をタッチする → **セレクトソフト**

1 でぼかしたくない範囲の境界線を描く

- 線がつながると選択範囲として認識され、内側に色が付きます。選択範囲の外側がぼかす範囲です。
- 線がつながっていない、または線で囲った範囲が狭すぎる場合は、選択範囲として指定できません。境界線を描き直してください。



2 選択範囲を調整する

-  を使うと選択範囲を追加できます。
-  を使うと選択範囲を消せます。
-  をタッチするとひとつ前の状態に戻ります（最大5回前まで）。
- ズームレバーを **T** (Q) 側に動かすと拡大表示できます。表示範囲を移動するには、 をタッチします。拡大表示を終了するには、ズームレバーを **W** (R) 側に動かします。
- 調整が終わったら、**OK** をタッチします。



3 スライダーをタッチまたはドラッグして効果の度合いを選び、**OK** をタッチする

- 選択範囲の指定をやり直すには、 をタッチします。
- 効果を付けた画像を保存せずに終了するには、 をタッチします。



4 **[はい]** をタッチする

- 編集画像が作成されます。

スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）

再生画面にする → 画像を選ぶ → **MENU** をタッチする → **スモールピクチャー**

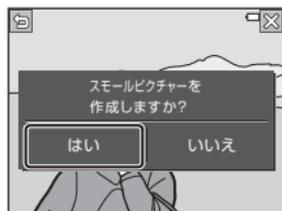
1 スモールピクチャーのサイズをタッチして選び、**OK**をタッチする

- **[縮小 4608×2592]** の画像は640×360のサイズになり、**[縮小 3456×3456]** の画像は480×480のサイズになります。**OK** をタッチして手順2へ進んでください。



2 **[はい]** をタッチする

- 編集画像が作成されます（圧縮率約1/8）。



トリミング（画像の一部を切り抜く）

1 トリミングしたい画像を拡大表示する（📖58）

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節し、📏をタッチする

- ズームレバーまたはタッチ操作で拡大率を調節します。📏が表示される拡大率にしてください。
- 画像をドラッグして表示範囲を移動します。



3 トリミング範囲を確認し、OKをタッチする



4 [はい] をタッチする

- 編集画像が作成されます。



画像サイズについて

- トリミングした画像のアスペクト比（横：縦）は、元画像と同じアスペクト比になります。
- 元画像が縦位置の場合、トリミングした画像も縦位置になります。

動画の撮影と再生

1 撮影画面を表示する

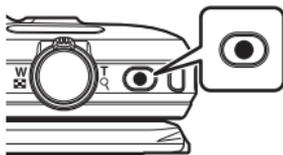
- 記録できる時間を確認します。



動画の記録可能時間

2 ●（動画撮影）ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。



- をタッチすると撮影を一時停止し、■ をタッチすると撮影を再開します。（[動画設定]を [iFrame 720/30p]、[iFrame 720/25p]、またはHS動画にした場合を除く）。一時停止したまま約5分経過すると、撮影が終了します。



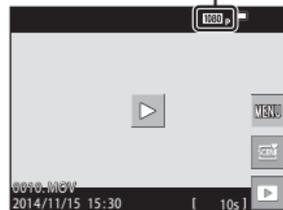
- 動画撮影中にシャッターボタンを押すと、静止画を記録できます (P83)。

3 ●（動画撮影）ボタンを押して、撮影を終了する

4 再生モードの1コマ表示で動画を選び、▶をタッチして再生する

- 動画設定のアイコンが表示されている画像が動画です。

動画設定



動画の写る範囲

- 動画の写る範囲は、動画メニューの[**動画設定**]によって異なります。
- セットアップメニューの[**モニター設定**] (□□128) の[**モニター表示設定**]で[**動画枠+情報オート**]にすると、動画撮影開始前に動画の写る範囲を確認できます。

動画の連続撮影可能時間

1回の撮影で記録可能な時間は、メモリーカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。

- 撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。
- 実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、メモリーカードの種類によって異なることがあります。
- 動画撮影には、SDスピードクラスが**Class 6**以上のメモリーカードをおすすめします (□□177)。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、撮影が自動終了します。自動終了までの残りの秒数 (🕒10s) が画面に表示されます。自動終了後、電源も**OFF**になります。カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

動画撮影についてのご注意

✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池/メモリーカードカバーを開けたり、電池やメモリーカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやメモリーカードが壊れることがあります。

✓ 記録した動画についてのご注意

- 電子ズームを使うと画質が劣化します。
- ズームレバーなどの操作音やズーム、オートフォーカス、動画手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の着いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

✓ 動画撮影時の手ブレ補正についてのご注意

- 動画メニューの[動画手ブレ補正]（□□121）を[する（ハイブリッド）]に設定すると、動画撮影時に画角（写る範囲）が狭くなります。
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐため、[動画手ブレ補正]を[しない]に設定してください。

✓ オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」（□□53）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。

1. 撮影前に動画メニューの[AFモード]を[シングルAF]（初期設定）にする。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して●（動画撮影）ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

動画撮影中に静止画を記録する

動画の撮影中に、シャッターボタンを全押ししたときの1フレームを静止画として記録できます。静止画の記録中でも動画撮影が続きます。

- 画面にが表示されているときに記録できます。表示がのときは記録できません。
- 記録される画像サイズは、[動画設定] (□116) によって異なります。

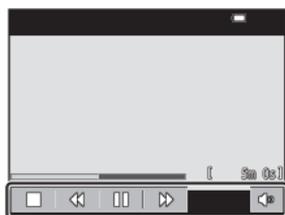


✓ 動画撮影中の静止画記録についてのご注意

- 以下の場合は、動画撮影中の静止画記録はできません。
 - 動画記録可能時間が30秒未満の場合
 - [動画設定] が [1080/60i]、[1080/50i]、HS動画の場合
- 静止画を記録した瞬間の動画のフレームは、なめらかに再生されない場合があります。
- 撮影中の動画にシャッターボタンの操作音が録音されることがあります。
- シャッターボタンを押すときに、カメラが動いて画像がぶれることがあります。

動画再生中の操作

画面に操作パネルが表示されます。



再生時



一時停止時

アイコンをタッチすると以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容
音量		音量を調節できます。ズームレバー (1) を動かしても、調整できます。
巻き戻し		タッチしている間、巻き戻します。
早送り		タッチしている間、早送りします。
一時停止		一時停止します。一時停止中は、以下の操作ができます。
		コマ戻しします。タッチしている間、連続してコマ戻しします。
		コマ送りします。タッチしている間、連続してコマ送りします。
		再生を再開します。
		撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。
撮影した動画の1フレームを静止画として切り出して保存します。		
再生終了		1コマ表示に戻ります。

動画の編集

動画の必要な部分だけを切り出す

撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。

- 1 編集する動画を再生して、切り出したい先頭で一時停止する (84)

- 2 操作パネルの  をタッチする



- 3 編集操作パネルの  (始点の設定) をタッチする

-   をタッチして始点を調整します。
- 編集を中止するには、 をタッチします。



- 4  (終点の設定) をタッチする

-   をタッチして終点を調整します。
- 設定した範囲をプレビューするには、 をタッチします。プレビュー再生中は、操作パネルが表示されます。プレビューを停止するときは  をタッチします。



- 5  をタッチする

- 画面に従って保存します。



✓ 動画編集についてのご注意

- [iFrame 720/30p] または [iFrame 720/25p] (□116) で撮影した動画は編集できません。
- 編集中に電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。電池残量表示が  のときは、動画編集の操作はできません。
- 編集で作成した動画は、再編集できません。
- 設定した始点/終点のフレームと、実際の切り出し範囲は、多少ずれることがあります。
- 再生時間が2秒未満になる切り出しはできません。

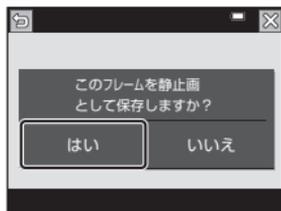
動画の1フレームを静止画として保存する

撮影した動画の1画面を静止画として切り出して保存します。

- 動画の再生を一時停止して、切り出したい画面を表示します (□84)。
- 操作パネルの  をタッチします。



- 確認画面で [はい] をタッチすると、画像が保存されます。
- 保存される画像のサイズは元の動画の種類 (画像サイズ) によって異なります。



✓ 静止画保存についてのご注意

[1080/60i 1080/60i] または [1080/50i 1080/50i] (□116) で撮影した動画は静止画保存ができません。

メニューを使う

MENU (メニュー) アイコンをタッチすると、以下のメニューを設定できます。

● **撮影メニュー**

撮影画面で **MENU** をタッチすると設定できます。
画像サイズと画質の組み合わせや、連続撮影の設定などを変更できます。

● **再生メニュー**

1コマ表示中またはサムネイル表示中に **MENU** をタッチすると設定できます。
画像の編集や、スライドショーの再生などができます。

● **動画メニュー**

撮影画面で **MENU** をタッチすると設定できます。
動画撮影についての設定ができます。

● **Wi-Fi設定メニュー**

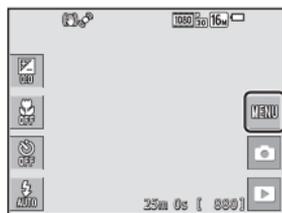
カメラとスマートデバイスを接続する設定ができます。

● **セットアップメニュー**

日時や表示言語など、カメラに関する基本的な設定ができます。

1 **MENU** (メニュー) アイコンをタッチする

- メニュー画面が表示されます。



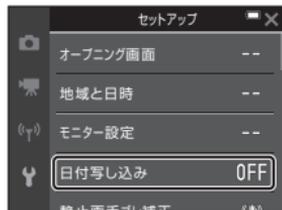
2 メニューアイコンをタッチする

- メニュー項目が選べるようになります。



3 メニュー項目をタッチする

- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。



4 設定内容をタッチする

- 選んだ設定内容が決定します。
- メニュー操作を終了するには、**X**をタッチしてください。
- メニュー画面から撮影画面にするには、シャッターボタンを押してください。



撮影メニュー (📷 (オート撮影) モード)

画像モード (画像サイズ/画質)

撮影画面にする※ →  をタッチする → 画像モード

※ オート撮影モード以外でも設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されません。

記録する画像サイズ (画像の大きさ) と画質 (画像の圧縮率) の組み合わせを選びます。

画像サイズの大きい画像モードほど大きくプリントするのに適し、圧縮率が低いほど高画質になりますが、記録可能コマ数は少なくなります。

項目※	圧縮率	アスペクト比 (横:縦)
 4608×3456★	約1/4	4:3
 4608×3456 (初期設定)	約1/8	4:3
 3264×2448	約1/8	4:3
 2272×1704	約1/8	4:3
 1600×1200	約1/8	4:3
VGA 640×480	約1/8	4:3
 4608×2592	約1/8	16:9
 3456×3456	約1/8	1:1

※ 数値は記録画素数を表しています。

例:  4608×3456: 約16メガピクセル=4608×3456ピクセル

画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意

プリンターの設定を「フチあり」にしてください。プリンターによっては、画像を1:1の縦横比でプリントできない場合があります。

画像モードについてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□□55)。

記録可能コマ数

- 記録可能なコマ数の目安は、撮影時の表示で確認できます (□□14)。
- 実際に記録可能なコマ数は、同じメモリー容量と画像モードでも、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。メモリーカードの種類によっても、記録可能コマ数が異なることがあります。
- 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

タッチ撮影

以下の項目を選べます。

項目	内容	📖
 タッチシャッター (初期設定)	画面にタッチするだけで、シャッターがきれ ます。	92
 AF タッチAF	オートフォーカスでピント合わせをするAF エリアを、画面にタッチして選べます。 シャッターボタンを押すと、選んだエリアで ピントと露出が合いシャッターがきれます。	93

- メイクアップモードのときは [タッチシャッター] に固定されます。

タッチシャッターまたはタッチAFで設定できるAFエリアについて

- [タッチシャッター] または [タッチAF] で、画面をタッチして設定できるAF
エリアは、撮影モードによって異なります。
- 一部のシーンモードではAFエリアは変更できません。
- ペット検出時または顔認識時は表示される枠のみタッチしてください。複数の
顔を認識しているときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にAF
エリアを変更できます。

☑ 画面にタッチしてシャッターをきる（タッチシャッター）

撮影画面にする※ → MENU をタッチする → タッチ撮影 → ☑ タッチシャッター → X をタッチする

※ オート撮影モード以外でも設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます。

ピントを合わせたい被写体をタッチして撮影する

- 液晶モニターにタッチするときには力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがありますのでご注意ください。
- 電子ズーム使用時は、画面中央の被写体にピントが合います。
- タッチシャッターに設定していても、シャッターボタンを押して撮影できます。
- 液晶モニターにタッチして『L』が表示されたときは、シャッターがきれません。『L』の内側をタッチしてください。



☑ タッチシャッターについてのご注意

- 撮影モードによって、設定できるAFエリアが異なります（☐91）。
- セルフタイマー（☐45）を設定してから、画面の被写体をタッチすると、ピントが固定され、10秒または2秒後にシャッターがきれます。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（☐55）。

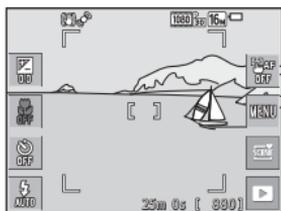
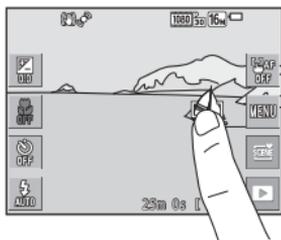
AF 画面にタッチしてピントを合わせる（タッチAF）

撮影画面にする※ → MENU をタッチする → タッチ撮影 → AF タッチ AF → X をタッチする

※ オート撮影モード以外でも設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます。

1 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- ・ タッチした場所には AF エリアが表示されます。
- ・ 電子ズーム使用時は、AF エリアは選べません。
- ・ AF エリアの選択を解除するときは、画面の [] をタッチします。
- ・ AF エリアに選べない場所をタッチしたときは、液晶モニターに [] が表示されます。 [] の内側をタッチしてください。



2 シャッターボタンを押して撮影する

- ・ シャッターボタンを半押しするとピントと露出が固定され、全押しするとシャッターがきれます。



✓ タッチAFについてのご注意

撮影モードによって、設定できるAFエリアが異なります（91）。

ホワイトバランス（色合いの調整）

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする → （オート撮影）モード →  をタッチする → ホワイトバランス

画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。

項目	内容
AUTO オート（初期設定）	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。
PRE プリセットマニュアル	〔オート〕や〔電球〕などの設定では望ましい結果が得られない場合に使います（□95）。
 晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
 電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
 蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
 曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
 フラッシュ	フラッシュを使う撮影に適しています。

ホワイトバランスについてのご注意

- 〔オート〕、〔フラッシュ〕以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを $\text{\textcircled{1}}$ （発光禁止）に設定してください（□43）。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（□55）。

プリセットマニュアルの使い方

以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く

2 [ホワイトバランス] の [プリセットマニュアル] をタッチして選び、**OK** をタッチする

- レンズが測定用のズーム位置になります。



3 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収める

- 前回の測定値を使いたいときは、[前回の設定] をタッチします。



測定窓

4 [新規設定] をタッチして測定する

- シャッターがきかれて、新規設定が終了します (画像は記録されません)。



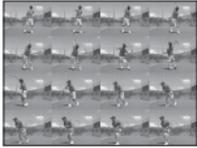
✓ プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、[ホワイトバランス] を [オート] または [フラッシュ] に設定してください。

連写

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする →  (オート撮影) モード →  をタッチする → 連写

項目	内容
 単写 (初期設定)	1コマずつ撮影します。
 連写 H	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 <ul style="list-style-type: none">連写速度は約9コマ/秒、連続撮影可能コマ数は約7コマです (画像モード  4608×3456 時)。
 連写 L	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 <ul style="list-style-type: none">連写速度は約2コマ/秒、連続撮影可能コマ数は約7コマです (画像モード  4608×3456 時)。
 先取り撮影	シャッターボタンを半押しすると先取り撮影を開始します。シャッターチャンスで全押しすると、その直前の画像もさかのぼって記録します ( 98)。シャッターチャンスを逃しにくくなります。 <ul style="list-style-type: none">連写速度は約12コマ/秒、連続撮影可能コマ数は5コマ (先取り撮影の最大 2 コマを含む) です (画像モード  4608×3456 時)。
 高速連写 120 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 <ul style="list-style-type: none">連写速度は約120コマ/秒、連続撮影可能コマ数は50コマです。画像モードは  (画像サイズ: 640×480 ピクセル) に固定されます。
 高速連写 60 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 <ul style="list-style-type: none">連写速度は約60コマ/秒、連続撮影可能コマ数は25コマです。画像モードは  (画像サイズ: 1280×960 ピクセル) に固定されます。

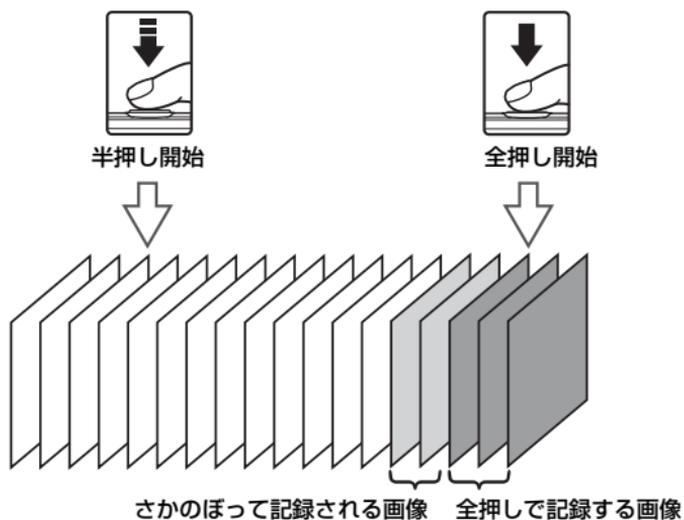
項目	内容
BSS BSS (ベストショット セレクター)	シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け(最大10コマ)、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。フラッシュ撮影禁止の場所など、手ブレしやすい状況で静止している被写体を撮影するときに使います。
 マルチ連写	シャッターボタンを1回全押しすると、16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。 <ul style="list-style-type: none"> • 連写速度は約 30 コマ / 秒です。 • 画像モードは  (画像サイズ: 2560×1920 ピクセル) に固定されます。 

連写についてのご注意

- ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 撮影後の画像の記録に時間がかかることがあります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- 画像モード、メモリーカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- [先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]、[マルチ連写] の場合、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画像の明るさや色合いがばらついたりすることがあります。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□□55)。

先取り撮影について

シャッターボタンの半押し/全押しと記録する画像の関係は以下のとおりです。



- シャッターボタンの半押し中は、撮影画面の先取り撮影アイコン（）が緑色に変わります。

ISO感度設定

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする →  (オート撮影) モード →  をタッチする → ISO感度設定

ISO感度を高くすると、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによるブレを軽減しやすくなります。

- ISO感度を高くすると、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	ISO 125～1600の範囲で自動設定します。
感度制限オート	自動設定範囲を [ISO 125-400]、[ISO 125-800] から選べます。
125、200、400、800、1600、3200、6400	ISO感度を選んだ値に固定します。

ISO感度設定についてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□55)。

撮影画面のISO感度表示について

- [オート] 時は、感度が上がったときにISOが表示されます。
- [感度制限オート] 時は、感度の上限値が表示されます。

ピクチャーカラー

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする →  (オート撮影) モード →  をタッチする → ピクチャーカラー

記録する画像の色調を変えます。

項目	内容
 標準カラー (初期設定)	自然な色調になります。
 ビビッドカラー	はっきりした色調になります。
 白黒	白黒写真になります。
 セピア	セピア色になります。
 クール	ブルー系のモノトーンになります。

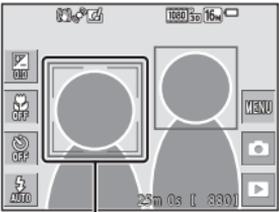
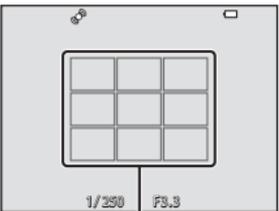
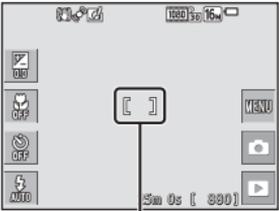
ピクチャーカラーについてのご注意

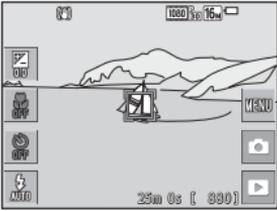
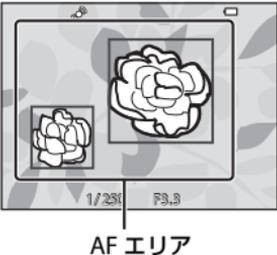
この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□55)。

AFエリア選択

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする →  (オート撮影) モード →  をタッチする → AFエリア選択

オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。

項目	内容	
 顔認識オート	<p>カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います。 →「顔認識撮影について」( 50)</p> <p>人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、シャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち最も手前の被写体をとらえているエリアでピントが合います。</p>	 <p>AF エリア</p>  <p>AF エリア</p>
[・] 中央	<p>画面中央の被写体にピントが合います。</p>	 <p>AF エリア</p>

項目	内容
📍 ターゲット追尾	<p>動く被写体の撮影に使用します。ピントを合わせた被写体を登録すると、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。→「ターゲット追尾の使い方」(📖103)</p> 
📍 ターゲットファインドAF (初期設定)	<p>カメラが主要な被写体を検出すると、その被写体にピントが合います。→「ターゲットファインドAFについて」(📖52)</p>  <p style="text-align: center;">AF エリア</p>

✓ AFエリア選択についてのご注意

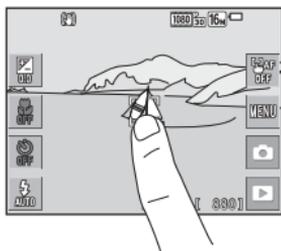
- 電子ズーム使用時は、[AF エリア選択] の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。
- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (📖55)。

ターゲット追尾の使い方

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする →  (オート撮影) モード →  をタッチする → AFエリア選択 →  ターゲット追尾 →  をタッチする

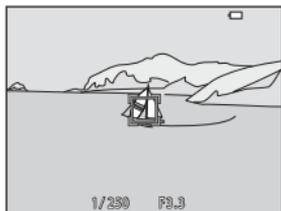
1 被写体を登録する

- 追尾したい被写体にタッチします。
- 被写体が登録されると、黄色いAFエリア表示で囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- 登録できなかったときは、枠が赤色に表示されます。構図を変えて登録をやり直してください。
- 被写体が登録できない場所をタッチしたときは、画面に「」が表示されます。「」の内側をタッチしてください。
- ターゲットを変えたいときは、別の被写体をタッチします。
- 登録を解除したいときは、画面のをタッチします。
- カメラがターゲットを見失うと、AF エリア表示が消えます。登録をやり直してください。



2 シャッターボタンを全押しして撮影する

- AFエリアが表示されていない状態でシャッターボタンを押すと、画面中央の被写体にピントが合います。



ターゲット追尾についてのご注意

- ターゲットの追尾中にズーム操作などを行うと、登録が解除されます。
- 撮影条件によっては、適切にターゲット追尾できないことがあります。

AFモード（オートフォーカスモード）

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする → （オート撮影）モード → をタッチする → AFモード

静止画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF （初期設定）	シャッターボタンを半押ししたときのみピントを合わせます。
AF-F 常時AF	シャッターボタンを半押ししていないときも、ピントを合わせ続けます。常に動作音がします。

動画のAFモードについて

動画撮影時のAFモードは、動画メニューの [AFモード]（120）で設定します。

クイックエフェクト

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする → （オート撮影）モード → をタッチする → クイックエフェクト

項目	内容
 する （初期設定）	 （オート撮影）モードで、シャッターをきった直後に  をタッチすると、効果を選ぶ画面が表示され、クイックエフェクトが使えます（  40）。
OFF しない	クイックエフェクト機能（撮影モード時）をOFFにします。

クイックエフェクトについてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（55）。

ベストフェイスメニュー

- [画像モード] については、「画像モード (画像サイズ/画質)」(□89) をご覧ください。
- [タッチ撮影] については、「タッチ撮影」(□91) をご覧ください。

美肌効果

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする → ☺ ベストフェイスモード → MENU をタッチする → 美肌効果

項目	内容
☺ ↕ 強め	シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し (最大3人)、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。効果の度合いを選べます。
☺ ↕ 標準 (初期設定)	
☺ ↕ 弱め	
OFFしない	美肌機能をOFFにします。

撮影画面の被写体では、効果の度合いは確認できません。撮影後に画像を再生して確認してください。

笑顔自動シャッター

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする →  ベストフェイスモード →  をタッチする → 笑顔自動シャッター

カメラが人物の笑顔を検出するたびにシャッターをきります。

項目	内容
 する (単写)	笑顔を検出するたびに、1コマずつ撮影します。
 する (連写)	笑顔を検出するたびに、最大5コマ連写し、5コマとも記録します。フラッシュは使えません。
 <small>BSS</small> する (BSS) (初期設定)	笑顔を検出するたびに、最大5コマ連写し、最も笑顔がよく撮れている1コマを記録します。フラッシュは使えません。
OFF しない	笑顔自動シャッターをOFFにします。

笑顔自動シャッターについてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□55)。

目つぶり軽減

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする → ☺ ベストフェイスモード → MENU をタッチする → 目つぶり軽減

項目	内容
ON する	<p>撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。</p> <ul style="list-style-type: none">目をつぶっている可能性のある画像を記録したときは、右のメッセージが数秒間表示されます。フラッシュは使えません。
OFF しない (初期設定)	目つぶり軽減機能をOFFにします。

☑ 目つぶり軽減についてのご注意

この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります (□55)。

メイクアップメニュー

- [画像モード] については、「画像モード (画像サイズ/画質)」(□89) をご覧ください。
- [タッチ撮影] については、「タッチ撮影」(□91) をご覧ください。

セルフコラージュ

撮影画面にする → 撮影モードアイコンをタッチする →  メイクアップモード →  をタッチする → セルフコラージュ

項目	内容
撮影回数	自動撮影する回数 (集約画像のコマ数) を設定します。 • [4回] (初期設定) と [9回] から選びます。
撮影間隔	1コマの撮影から次の撮影に移るまでの時間を設定します。 • [短い]、[中間] (初期設定)、[長い] から選びます。
シャッター音の設定	セルフコラージュで撮影するときのシャッター音を設定します。 • [標準]、[一眼レフ風]、[マジカル] (初期設定)、[なし] から選びます。 • セットアップメニューの [操作音] の [シャッター音] とは連動していません。

再生メニュー

- 罨 [削除] については、「画像を削除する」(□□20)をご覧ください。
- 画像編集機能については、「画像の編集 (静止画)」(□□68)をご覧ください。
- [お気に入り登録]、[お気に入り解除] については、「お気に入り再生モード」(□□60)をご覧ください。

Wi-Fi送信画像の指定

再生画面にする → 画像を選ぶ →  をタッチする →  Wi-Fi送信画像の指定

スマートデバイスに取り込みたい画像を、あらかじめカメラで選べます。画像選択の画面で (□□115)、画像を選んでWi-Fi送信画像の指定または解除をします。

セットアップメニューの [設定クリアー] (□□140) またはWi-Fi設定メニューの [設定の初期化] (□□123) を実行すると、Wi-Fi送信画像の指定は解除されますので、ご注意ください。

スライドショー

再生画面にする → 画像を選ぶ → **MENU** をタッチする → **スライドショー**

画像を1コマずつ順番に自動再生します。動画は1フレーム目のみを表示します。

1 [開始] をタッチする

- スライドショーが始まります。
- [開始] をタッチする前に [効果] をタッチすると、スライドショー中の効果を選べます。
- [開始] をタッチする前に [インターバル設定] をタッチすると、画像の表示時間を変更できます。
- 繰り返し再生するには、[開始] をタッチする前に [エンドレス] をタッチします。
- スライドショーの連続再生時間は、[エンドレス] に設定している場合も含め、最大約30分です。



2 終了または再開する

- 再生終了後や一時停止中は、右の画面になります。終了するには、**■** をタッチします。再開するには、**▶** をタッチします。



再生中の操作

操作パネルのアイコンをタッチすると、以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容
巻き戻し	◀	タッチしている間、巻き戻します。
早送り	▶	タッチしている間、早送りします。
一時停止	⏸	タッチすると、一時停止します。 • 再生を再開するには、▶ をタッチします。
再生終了	■	タッチすると、スライドショーを終了します。

プロテクト設定

再生画面にする → 画像を選ぶ → **MENU** をタッチする → **ON** プロテクト設定

大切な画像を誤って削除しないように保護します。

画像選択の画面で (□115)、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。

メモリーカード/内蔵メモリーを初期化 (フォーマット) (□135) すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

画像回転

再生画面にする → 画像を選ぶ → **MENU** をタッチする → **回転** 画像回転

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き (縦横位置) を設定します。

静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。

画像選択の画面で回転する画像を選ぶと (□115)、画像回転の画面が表示されます。🔄または🔄をタッチすると、画像が90度回転します。



反時計方向に
90度回転



時計方向に
90度回転

OK をタッチすると、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

音声メモ

再生画面にする → 画像を選ぶ → **MENU** をタッチする → **音声メモ**

撮影した画像に音声メモが付けられます。

音声メモを録音する

- **REC** をタッチすると、約20秒まで録音できます。
- 録音中に **REC** をタッチすると、録音が停止します。
- カメラのマイクに触れないようご注意ください。
- 録音中は **REC** が点滅します。
- 録音が終了すると、音声メモの再生画面になり、**▶** をタッチすると再生できます。
- 録音し直すときは、音声メモをいったん削除してください。
- 録音済みの画像には、1コマ表示で **🗑️** が表示されます。



音声メモを再生する

MENU をタッチする前に **🗑️** 付きの画像を選んでください。

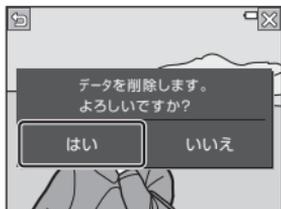
- 再生するには、**▶** をタッチします。**▶** をタッチすると再生が止まります。
- 再生中は、**🔊** をタッチして音量を調節できます。



音声メモを削除する

音声メモの再生画面で **🗑️** をタッチします。確認画面が表示されたら **はい** をタッチします。

- **[プロテクト設定]** 済みの画像は、保護を解除すると音声メモを削除できます。



画像コピー（メモリーカードと内蔵メモリー間のコピー）

再生画面にする → 画像を選ぶ → **MENU** をタッチする → **☰** 画像コピー

メモリーカードの画像を内蔵メモリーへ、または内蔵メモリーの画像をメモリーカードへコピーできます。

- 画像が記録されていないメモリーカードを入れて、再生モードに切り換えると「**撮影画像がありません。**」と表示されますが、**MENU** をタッチすると「**画像コピー**」を選べます。

1 コピーする方向をタッチする



2 コピーする方法をタッチする

- 「**選択画像コピー**」を選んだときは、画像選択の画面で、画像を選びます (☰115)。



メニューを使う

✓ 画像コピーについてのご注意

- このカメラで記録できるファイル形式のみコピーできます。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像は動作を保証していません。
- コピーした画像や動画は、オート分類再生モード (☰64) では表示できません。
- お気に入り登録した画像をコピーしても、コピー先のお気に入りフォルダーには登録されません。

連写グループの画像コピーについて

- [選択画像コピー] で代表画像を選ぶと、グループ内の画像をすべてコピーします。
- グループ内画像の表示中に  をタッチしたときは、[カード→カメラ] 方向のみコピーできます。[表示グループコピー] を選ぶと、グループ内の画像をすべてコピーします。

連写グループ表示方法

再生画面にする → 画像を選ぶ →  をタッチする →  連写グループ表示方法

連写グループ (66) の再生時の表示方法を設定します。

項目	内容
 1枚ずつ	連写した画像を、常に1コマずつ表示します。再生画面で  が表示されます。
 代表画像のみ (初期設定)	連写した画像を代表画像で表示します。

設定内容は、すべての連写グループに反映され、電源をOFFにしても記憶されます。

連写の代表画像選択

再生画面にする → 画像を選ぶ →  をタッチする →  連写の代表画像選択

連写グループの代表画像をグループ内の他の画像に変更します。

- 代表画像の選択画面が表示されたら、画像を選びます (115)。

画像選択画面の操作方法

操作中に右のような画像選択画面が表示されたときは、以下の手順で画像を選びます。



1 タッチして画像を選び、✓を付ける

- ズームレバー (□1) を **T** (Q) 側に動かすと1コマ表示に、**W** (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 選択を解除するには、もう一度画像をタッチして✓を外します。
- 複数の画像を選択したいときは、同様に画像をタッチして✓を付けます。
- [画像回転]、[連写の代表画像選択]、[オープニング画面] の画像選択では、1画像しか選べません。



2 OKをタッチして画像選択を決定する

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。



動画メニュー

動画設定

撮影画面にする →  をタッチする →  メニューアイコン → 動画設定

撮影する動画の種類を選びます。通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS（ハイスピード）動画（[□□117](#)）があります。選べる項目は、[フレームレート設定] によって異なります（[□□122](#)）。

- 動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします（[□□177](#)）。

通常速度の動画

項目 (画像サイズ/フレームレート ^{*1} 、 記録方式)	画像サイズ	アスペクト比 (横：縦)
 1080/30p ^{*2}	1920×1080	16:9
 1080/25p ^{*2} (初期設定)		
 1080/60i ^{*2}	1920×1080	16:9
 1080/50i ^{*2}		
 720/30p ^{*2}	1280×720	16:9
 720/25p ^{*2}		
 iFrame 720/30p ^{*2, 3}	1280×720	16:9
 iFrame 720/25p ^{*2, 3}		
 480/30p	640×480	4:3
 480/25p		

※1 インターレース方式では fields/sです。

※2 スペシャルエフェクトまたはメイクアップの効果の種類によっては、選べません。

※3 iFrameは、Apple Inc.がサポートするフォーマットのひとつです。このカメラでは、iFrameの編集はできません。内蔵メモリーでの撮影は、連続撮影可能時間に到達する前に終了することがあります。

HS動画

撮影した動画を再生すると、スローモーションや早送りになります。

→「スローモーション、早送り動画の撮影方法（HS動画）」（□□119）

項目	画像サイズ アスペクト比（横：縦）	内容
  HS 480/4倍※ ¹	640×480 4:3	1/4の速度のスローモーション動画です。 <ul style="list-style-type: none"> • 最長撮影時間※²: 10秒(再生時間: 40秒)
  HS 720/2倍※ ¹	1280×720 16:9	1/2の速度のスローモーション動画です。 <ul style="list-style-type: none"> • 最長撮影時間※²: 30秒(再生時間: 1分)
  HS 1080/0.5倍※ ¹	1920×1080 16:9	2倍の速度の早送り動画です。 <ul style="list-style-type: none"> • 最長撮影時間※²: 2分(再生時間: 1分)

※¹ スペシャルエフェクトまたはメイクアップの効果の種類によっては、選べません。

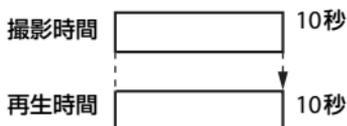
※² 撮影中にスローモーション/早送りと通常速度の切り換えができません。
 表中の最長撮影時間は、スローモーションまたは早送り再生になる部分だけの撮影時間です。

HS動画についてのご注意

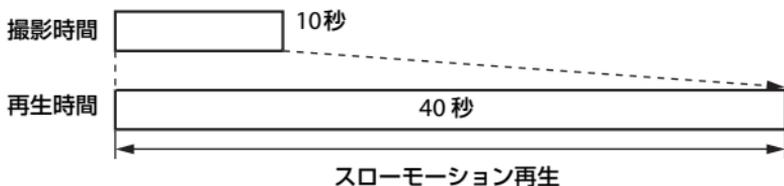
- 音声は記録されません。
- ズーム位置とピントは、撮影開始時に固定されます。

 スローモーション再生と早送り再生について

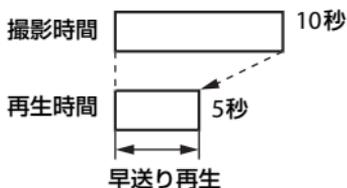
通常速度で撮影した場合：



【 HS 480/4倍】 / 【 HS 480/4倍】 で撮影した場合：
通常速度の4倍のハイスピードで撮影します。
再生時は、4倍の時間をかけてスローモーションで再生します。



【 HS 1080/0.5倍】 / 【 HS 1080/0.5倍】 で撮影した場合：
通常速度の1/2のスピードで撮影します。
再生時は、2倍の速さで早送り再生します。



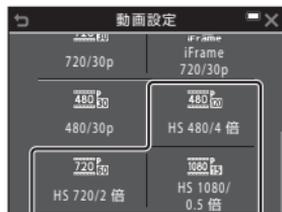
スローモーション、早送り動画の撮影方法（HS動画）

撮影画面にする → **MENU** をタッチする → **メニューアイコン** → 動画設定

HS（ハイスピード）動画で撮影すると、通常再生の1/4、または1/2の速度のスローモーションや2倍の早送りで再生されます。

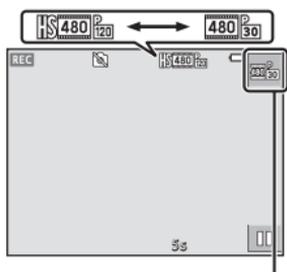
1 HS動画（**117**）をタッチする

- 設定したら **X** をタッチして、撮影画面に戻ります。



2 ●（動画撮影）ボタンを押して、撮影を開始する

- 動画メニューの **[HS 動画で記録開始]** が **[する]** の場合はHS動画で、**[しない]** の場合は通常速度で撮影が始まります。
- 撮影中に **HS/HD 切り換えアイコン** をタッチすると、HS動画と通常速度の撮影が切り換わります。
- 動画設定アイコンの表示は、HS動画の速度のときと、通常速度のときで切り換わります。
- HS動画の最長撮影時間（**117**）が経過すると、自動的に通常速度の動画撮影に切り換わります。



HS/HD切り換えアイコン

メニューを使う

3 ●（動画撮影）ボタンを押して、撮影を終了する

HS動画で記録開始

撮影画面にする →  をタッチする →  メニューアイコン → HS動画で記録開始

HS動画を撮影するとき、HS動画で開始するか、通常速度で開始するかを設定します。

項目	内容
ON する (初期設定)	HS動画で撮影を開始します。
OFF しない	通常速度の動画で撮影を開始します。

AFモード

撮影画面にする →  をタッチする →  メニューアイコン → AFモード

動画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF (初期設定)	動画撮影開始時にピントを固定します。 撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、[シングルAF] での撮影をおすすめします。

- [動画設定] をHS動画に設定したときは、[シングルAF] に固定されます。

動画手ブレ補正

撮影画面にする →  をタッチする →  メニューアイコン → 動画手ブレ補正

動画撮影時の手ブレ補正を設定します。

三脚などでカメラを固定して撮影するときは、**[しない]** にしてください。

項目	内容
 * する (ハイブリッド) (初期設定)	レンズシフト方式で光学的に補正すると同時に、画像処理で電子的に補正します。画角 (写る範囲) は狭くなります。
 する	レンズシフト方式で手ブレを補正します。
OFF しない	補正をしません。

- **[動画設定]** をHS動画に設定したときは、**[しない]** に固定されます。

動画手ブレ補正についてのご注意

- 撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。
- スペシャルエフェクトモード時に **[動画設定]** が  **1080/60i** または  **1080/50i** のときは、**[動画手ブレ補正]** を **[する (ハイブリッド)]** に設定しても、レンズシフト方式のみで手ブレを補正します。

風切り音低減

撮影画面にする →  をタッチする →  メニューアイコン → 風切り音低減

項目	内容
 する	動画撮影時にマイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなる場合があります。
OFF しない(初期設定)	風切り音を低減しません。

- [動画設定] をHS動画に設定したときは、[しない] に固定されます。

フレームレート設定

撮影画面にする →  をタッチする →  メニューアイコン → フレームレート設定

動画撮影時のフレームレート（インターレース方式では fields/s）を選びます。フレームレートの設定を切り換えると、[動画設定]（ 116）で選べる項目が変わります。

項目	内容
30fps 30 fps (30p/60i)	NTSC方式のテレビで再生するのに適しています。
25fps 25 fps (25p/50i)	PAL方式のテレビで再生するのに適しています。

Wi-Fi設定メニュー

 をタッチする →  メニューアイコン

カメラとスマートデバイスを接続するためWi-Fi（無線LAN）ネットワーク情報を設定します。

項目	内容
 スマートデバイスと接続	カメラとスマートデバイスを無線接続するときに選びます。→「Wi-Fi（無線LAN）を使う」（□□141）
 カメラ内画像の送信	カメラとスマートデバイスを無線接続するときに選びます。→「Wi-Fi（無線LAN）を使う」（□□141） <ul style="list-style-type: none">無線接続をする前に、画像選択の画面で送信する画像を選択できます（□□115）。画像を選択した後、カメラのSSIDとパスワードが画面に表示されます。
 Wi-Fi OFF	カメラとスマートデバイスの無線接続を終了するときに選びます。→「Wi-Fi（無線LAN）を使う」（□□141）
 設定	SSID：SSIDを変更できます。ここで設定したSSIDが、スマートデバイスに表示されます。英数字の1～24桁で設定します。 認証/暗号：スマートデバイスと接続するときに、通信信号を暗号化するかどうかを設定します。 [OPEN]（初期設定）のときは、暗号化しません。 パスワード：パスワードを設定します。英数字の8～16桁で設定します。 チャンネル：無線接続で使用するチャンネルを設定します。
INFO 現在の設定	現在の設定を一覧表示します。
RESET 設定の初期化	Wi-Fiの設定を初期設定に戻します。無線接続中に実行すると接続が切断されます。

文字入力画面の操作方法

- キーボード（12キーボード）をタッチして英数字を入力します。
- 文字列のカーソル位置を移動するには、  をタッチします。
- 1文字削除するには、 をタッチします。
- 英数字や大文字・小文字を切り替えるには、入力切り換えアイコンをタッチします。
- 設定を確定するには、 をタッチします。



セットアップメニュー

オープニング画面

 をタッチする →  メニューアイコン → オープニング画面

電源をONにしたときに表示されるオープニング画面の設定をします。

項目	内容
なし（初期設定）	オープニング画面を表示しません。
COOLPIX	COOLPIXのオープニング画面を表示します。
撮影した画像	撮影した画像をオープニング画面として表示します。 <ul style="list-style-type: none">• 画像の選択画面が表示されます。画像を選び（115）、 をタッチして登録します。• 登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、オープニング画面に残ります。• 縦横比が画面と異なる画像、スモールピクチャーやトリミングで極端にサイズが小さくなった画像などは登録できません。

地域と日時

MENU をタッチする → Y メニューアイコン → 地域と日時

内蔵時計の日時を設定します。

項目	内容
日時の設定	<ul style="list-style-type: none">項目を選ぶ: 変更したい項目をタッチします。日時を合わせる: ▲▼ をタッチします。設定を完了する: OK をタッチします。 
日付の表示順	[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] から選びます。
タイムゾーン	タイムゾーン(地域)や夏時間(サマータイム)を設定します。 <ul style="list-style-type: none">自宅 (🏠) を設定してから、訪問先 (📍) のタイムゾーンを設定すると、時差を自動計算し、撮影日時を訪問先の時間で記録できます。

タイムゾーンの設定方法

1 [タイムゾーン] をタッチする



2 [🏠 自宅] または [➡ 訪問先] をタッチする

- 自宅か訪問先の日時に切り替わります。



3 🌐 をタッチする



4 ◀▶ をタッチしてタイムゾーンを選ぶ

- 🌐 をタッチすると夏時間（サマータイム）になり、🌐 が表示されます。解除するには、🌐 をタッチします。
- OK をタッチして、タイムゾーンを決定します。
- 自宅または訪問先のタイムゾーンの設定では、正しい時刻が表示されないときは、[日時の設定] で合わせてください。

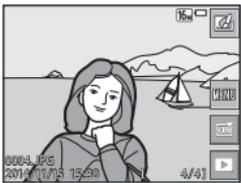


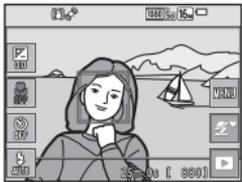
モニター設定

MENU をタッチする → Yメニューアイコン → モニター設定

項目	内容
モニター表示設定	画面に情報を表示するかどうかを設定します。
撮影後の画像表示	撮影直後に、撮影した画像を表示するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[する]
画面の明るさ	明るさを調節します。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[3]

[モニター表示設定] について

	撮影時	再生時
情報ON		
情報オート (初期設定)	操作しない状態が数秒経過すると、一部の操作アイコンや情報の表示がOFFになります。 DISP をタッチすると再表示します。	
格子線+ 情報オート	 <p>[情報オート] の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線を表示します。動画撮影中は格子線を表示しません。</p>	 <p>[情報オート] と同じです。</p>

	撮影時	再生時
動画枠+ 情報オート	 <p>【情報オート】の表示内容に加えて、動画撮影開始前に動画撮影範囲の枠を画面に表示します。 動画撮影中は動画枠を表示しません。</p>	 <p>【情報オート】と同じです。</p>

モニター設定についてのご注意

静止画撮影時に [クイックエフェクト] (□104) が [する] のときは、[撮影後の画像表示] の設定にかかわらず、撮影後に、撮影した画像を表示します。

日付写し込み

MENU をタッチする → **Y**メニューアイコン → 日付写し込み

撮影時に日時を画像に写し込んで記録します。
日付の印字に対応していないプリンターでも
日付入りの画像をプリントできます。



項目	内容
DATE 年・月・日	日付を写し込みます。
DATE 年・月・日・時刻	日付と時刻を写し込みます。
OFF しない (初期設定)	日付、時刻のどちらも写し込みません。

✓ 日付写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日時を写し込めません。
 - シーンモードの [夜景ポートレート] ([手持ち撮影] 時)、[夜景] ([手持ち撮影] 時)、[かんたんパノラマ]
 - 連写の設定 ([□96] が [先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps])
 - 動画
 - 動画撮影中に記録した静止画
- 画像サイズが小さいと、日時が読みにくいことがあります。

📄 日付を写し込んでいない画像に撮影日時を入れてプリントするには
画像をパソコンに取り込んで、ソフトウェア「ViewNX 2」([□152]) を使うと、
日付を入れてプリントできます。

静止画手ブレ補正

 をタッチする →  メニューアイコン → 静止画手ブレ補正

静止画撮影時の手ブレ補正を設定します。

三脚などでカメラを固定して撮影するときは、[しない] にしてください。

項目	内容
 する (初期設定)	レンズシフト方式で補正します。
OFF しない	補正をしません。

静止画手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源をONにした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、液晶モニターの画像が安定してから撮影してください。
- 撮影直後に液晶モニターの画像がずれて見えることがあります。
- 撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。

モーション検知

MENU をタッチする → **Y**メニューアイコン → モーション検知

静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。

項目	内容
 オート (初期設定)	撮影画面に  が表示される撮影モードや設定で作動します。 カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると  が緑色に変わり、ISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。 •  (オート撮影) モードでは、[ISO 感度設定] (□99) を [オート] に設定してください。
OFF しない	モーション検知をしません。

モーション検知についてのご注意

- 撮影状況によってはブレを軽減できないことがあります。
- 極端にブレしているときや暗すぎるときは、作動しないことがあります。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

AF補助光

MENU をタッチする → **Y**メニューアイコン → AF補助光

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	暗い場所などでシャッターボタンを押すと、オートフォーカスの補助光が自動的に点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約2.0 m、望遠側で約2.0 mです。 <ul style="list-style-type: none">AF エリアの位置やシーンモードの種類によっては点灯しない場合があります。
OFF なし	AF補助光は点灯しません。

電子ズーム

MENU をタッチする → **Y**メニューアイコン → 電子ズーム

項目	内容
ON する (初期設定)	電子ズームが使えます。
OFF しない	電子ズームは使えません。

✓ 電子ズームについてのご注意

- 以下の撮影モードでは、電子ズームは使えません。
 - シーンモードの [ポートレート]、[夜景ポートレート]、[夜景]、[逆光] ([HDR]使用時)、[かんたんパノラマ]、[ペット]
 - ベストフェイスモード
 - メイクアップモード
- 他の撮影モードでも、設定によっては電子ズームは使えません (P57)。

操作音

 をタッチする →  メニューアイコン → 操作音

項目	内容
設定音	<p>[あり] (初期設定) にすると、操作時に設定音 (電子音1回)、合焦音 (電子音2回)、警告音 (電子音3回)、およびオープニング音が鳴ります。</p> <ul style="list-style-type: none">シーンモードの [ペット] では鳴りません。
シャッター音	<p>[あり] (初期設定) にすると、シャッターをきったときに電子音が鳴ります。</p> <ul style="list-style-type: none">連写時や動画撮影時、シーンモードの [ペット] では鳴りません。

オートパワーオフ

 をタッチする →  メニューアイコン → オートパワーオフ

カメラが待機状態 (□16) になるまでの時間を設定します。
[30秒]、[1分] (初期設定)、[5分]、[30分] から選べます。

オートパワーオフの設定について

以下の場合、待機状態になるまでの時間は固定です。

- メニュー表示中: 3分 ([30秒] または [1分] に設定した場合)
- [ペット自動シャッター] で撮影中: 5分 ([30秒] または [1分] に設定した場合)
- [笑顔自動シャッター] で撮影中: 5分 ([30秒] または [1分] に設定した場合)
- ACアダプター EH-62G接続中: 30分
- USBケーブルまたはHDMIケーブル接続中: 30分

カード/メモリーの初期化（フォーマット）

 をタッチする →  メニューアイコン → カード/メモリーの初期化

メモリーカードまたは内蔵メモリーを初期化（フォーマット）します。初期化すると、メモリーカード/内蔵メモリー内のデータはすべて削除されます。削除したデータは元に戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに保存してください。

メモリーカードを初期化するには

- メモリーカードをカメラに入れます。
- セットアップメニューの [カードの初期化] をタッチします。

内蔵メモリーを初期化するには

- メモリーカードを取り出します。
- セットアップメニューの [メモリーの初期化] をタッチします。

表示された画面で [はい] をタッチし、確認画面で [実行] をタッチすると、初期化が始まります。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池/メモリーカードカバーを開けたりしないでください。
- Wi-Fi接続中は選択できません。

言語/Language

 をタッチする →  メニューアイコン → 言語/Language

画面に表示する言語を設定します。

HDMI

 をタッチする →  メニューアイコン → HDMI

テレビとの接続に必要な設定を行います。

HDMI出力時の解像度を選びます。[オート] (初期設定) にすると、接続するテレビに対応した解像度を [480p]、[720p] または [1080i] から自動で選んで出力します。

HDMIとは

「HDMI」とは、High-Definition Multimedia Interfaceの略で、マルチメディアインターフェースのひとつです。

パソコン接続充電

 をタッチする →  メニューアイコン → パソコン接続充電

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	起動済みのパソコンに接続すると (🔌145)、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内の電池を充電します。
OFF しない	パソコンに接続しても、カメラ内の電池を充電しません。

パソコンで充電するときのご注意

- パソコンに接続するとカメラの電源がONになり、充電が始まります。カメラの電源をOFFにすると、充電は中止されます。
- 残量がない電池の場合、フル充電までの時間は約2時間50分です。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。

電源ランプがオレンジ色で速く点滅したときは

充電できません。以下の可能性があります。

- 充電可能な温度ではありません。周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- USBケーブルが正しく接続されていないか、電池の異常です。正しく接続し直すか、電池を交換してください。
- パソコンが休止状態（スリープ状態）で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。
- パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。

目つぶり検出設定

MENU をタッチする → **Y**メニューアイコン → 目つぶり検出設定

以下の撮影モードで顔認識撮影（□□50）したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

- **おまかせシーン** モード（□□24）
- シーンモード（□□25）の [ポートレート]、[夜景ポートレート]
- **オート撮影** モード（AF エリア選択が [顔認識オート]）（□□101）のとき

項目	内容
ON する	顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性がある場合は、液晶モニターに [目つぶり確認] 画面を表示します。 撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます。
OFF しない (初期設定)	目つぶり検出をしません。

目つぶり確認画面の操作方法

目つぶり検出した顔は、枠で囲まれます。
以下の操作ができます。

- 顔を拡大表示する：ズームレバーを **T** (Q) 側に動かします。複数の顔を検出したときは、**○** または **○** をタッチすると顔が切り換わります。
- 1コマ表示に戻る：ズームレバーを **W** (R) 側に動かします。
- 確認中の画像を削除する：**🗑** をタッチします。

OK をタッチするか、操作しない状態が数秒経過すると、撮影画面に戻ります。



✓ 目つぶり検出設定についてのご注意

- この機能は、他の機能と組み合わせて使えないことがあります（□□55）。
- 撮影状況などによっては、適切に目つぶり検出ができないことがあります。

Eye-Fi送信機能

 をタッチする →  アイコン → Eye-Fi送信機能

市販のEye-Fiカードによるパソコンへの画像送信機能を有効にするかどうかを設定します。

項目	内容
 有効 (初期設定)	カメラで作成した画像を、あらかじめ設定した保存先へ送信します。
 無効	画像を送信しません

- Wi-Fi接続中は選択できません。

Eye-Fiカードを使用するときのご注意

- 電波の状態が悪い場合、[有効]に設定していても送信できないことがあります。
- 電波の出力が禁止されている場所では、Eye-Fi カードはカメラから取り出してください。[無効]に設定しているときでも、電波が出力される場合があります。
- Eye-Fiカードの使用方法はEye-Fiカードの説明書をご覧ください。Eye-Fiカードに関する不具合や質問は、カードメーカーにお問い合わせください。
- このカメラには Eye-Fi カードの通信機能を ON/OFF する機能がありますが、Eye-Fiカードの全ての機能を保証するものではありません。
- エンドレスメモリー機能には対応していません。パソコンで設定をしている場合は、OFFにしてください。エンドレスメモリー機能を設定していると、撮影した画像枚数表示が正常に表示されなくなることがあります。
- Eye-Fi カードの送信機能の使用は、ご購入された国でのみ使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。
- [有効]にしていると、電池の消耗は通常より早くなります。

Eye-Fiカード使用時の表示について

カメラ内のEye-Fiカードの通信状態は、画面で確認できます (□□6)。

-  : [Eye-Fi送信機能] が [無効] に設定されています。
-  (点灯) : 画像の送信を待っています。
-  (点滅) : 画像の送信中です。
-  : 未送信の画像がありません。
-  : エラーが発生しました。Eye-Fiカードをコントロールできません。

設定クリアー

 をタッチする →  メニューアイコン → 設定クリアー

【はい】 を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

- 【地域と日時】、【言語/Language】 など、一部の設定はリセットされません。
- Wi-Fi接続中は選択できません。

 ファイル番号の連番をリセットする

メモリーカード/内蔵メモリー内の画像をすべて削除 (□□20) してから 【設定クリアー】 を行うと、連番は「0001」からにリセットされます。

バージョン情報

 をタッチする →  メニューアイコン → バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

- Wi-Fi接続中は選択できません。

Wi-Fi（無線LAN）を使う

Android OSまたはiOSのスマートデバイスに専用ソフトウェア「Wireless Mobile Utility」をインストールしてカメラと接続すると、以下の操作ができます。

写真を撮る

以下の2つの方法で静止画が撮れます。

- カメラのシャッターをきり、画像をスマートデバイスに取り込む。
- リモート操作により、スマートデバイスでカメラのシャッターをきり、画像をスマートデバイスに取り込む。

写真を見る

カメラのメモリーカードに保存した画像を、スマートデバイスに表示して取り込めます。カメラであらかじめ指定した画像をスマートデバイスに取り込むこともできます。

ご注意

ご購入時はパスワードなどのセキュリティーは設定されていません。お客様の判断と責任で、必要なセキュリティーをWi-Fi設定メニュー（□87）の「設定」で設定してからお使いください。

スマートデバイスにソフトウェアをインストールする

- 1 スマートデバイスでGoogle PlayストアやApp Storeなどに接続して、「Wireless Mobile Utility」を検索する
 - 詳しくは、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。
- 2 説明や情報を確認し、インストールする

Wireless Mobile Utilityの説明書について

下記のウェブサイトからダウンロードしてください。

- Android OS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/>
- iOS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU-ios/>

カメラと接続するには、カメラの☞ (Wi-Fi) ボタンを押してから、スマートデバイスのWi-Fi設定をONにし、ネゴシエーション中に「Wireless Mobile Utility」を起動します。

カメラとスマートデバイスを接続する

1 カメラのWi-Fiボタンを押す



- 右の画面が表示されます。
- スマートデバイスからの接続通信が3分以内にないと、[アクセスありませんでした。]を表示して、Wi-Fi設定画面に戻ります。
- Wi-Fi 設定メニューの [スマートデバイスと接続] をタッチしても、右の画面を表示できます。



2 スマートデバイスのWi-Fi設定をONにする

- 詳しくは、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。
- スマートデバイスに利用可能なネットワーク名 (SSID) が表示されたら、カメラに表示されているSSIDを選びます。
- Wi-Fi 設定メニューで [認証/暗号] を [WPA2-PSK-AES] に設定した場合は、パスワードの入力が求められます。カメラに表示されているパスワードを入力してください。

3 ネゴシエーション中に、スマートデバイスの「Wireless Mobile Utility」を起動する

- 「写真を撮る」または「写真を見る」を選ぶ画面が表示されます。
- 「カメラと接続できません。」が表示されたときは、手順1からやり直してください。
- 「スマートデバイスにソフトウェアをインストールする」(📄141)

NFC対応のスマートデバイスをカメラにタッチして接続する

NFC (Near Field Communication: 近距離無線通信) 対応のAndroid OSのスマートデバイスをお使いの場合は、カメラの  (Nマーク) にスマートデバイスのNFCアンテナ部をタッチすると、Wi-Fi接続とWireless Mobile Utilityの起動ができます。



Wi-Fi接続を解除するには

以下のいずれかの操作をします。

- カメラの電源をOFFにする
- カメラのWi-Fi設定メニューで **[Wi-Fi OFF]** を設定する（リモート操作時を除く）
- スマートデバイスのWi-Fi設定をOFFにする

Wi-Fi接続についてのご注意

- 以下の場合には、Wi-Fi接続操作が無効になります。
 - メモリーカードを挿入していないとき
 - Eye-Fiカード（□□139）を挿入しているとき
 - カメラをテレビ、パソコンまたはプリンターに接続しているとき
 - 液晶モニターの電池残量表示が  のとき。また、Wi-Fi接続中に  になると接続が解除されます。
 - 動画撮影中
 - 音声メモ録音中
 - 画像や動画の記録などの処理実行中
 - スマートデバイスと接続しているとき
- 電波の出力が禁止されている場所では、**[Wi-Fi OFF]** を設定してください。
- Wi-Fi接続中は、**[オートパワーオフ]** は無効になります。
- Wi-Fi接続中は、電池を通常より消耗します。

セキュリティー設定について

Wi-Fi機能を搭載したカメラは、セキュリティー（暗号化やパスワード）を設定しないと、第三者に不正侵入される可能性があります。

お客様の判断と責任で、必要なセキュリティーを設定してからお使いください。

Wi-Fi設定メニュー（□□123）の **[設定]** で設定できます。

スマートデバイスに取り込みたい画像をカメラで送信指定する

スマートデバイスに取り込みたい画像を、あらかじめカメラで選べます。動画は選べません。

1 送信する画像を選ぶ

以下のメニューでスマートデバイスに取り込む画像を送信指定できます。

- 再生メニューの [Wi-Fi送信画像の指定] (☞109)
- Wi-Fi設定メニューの [カメラ内画像の送信] (☞123)

[カメラ内画像の送信] の場合は、画像を選択した後、カメラのSSIDとパスワードが画面に表示されます。

2 カメラとスマートデバイスを接続する (☞142)

カメラとスマートデバイスを接続し、Wireless Mobile Utilityを起動後、「写真を見る」をタッチすると、確認画面が表示され、指定した画像をスマートデバイスに取り込みます。

再生中の画像を送信指定に追加する

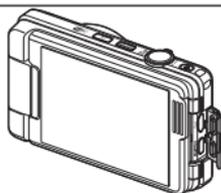
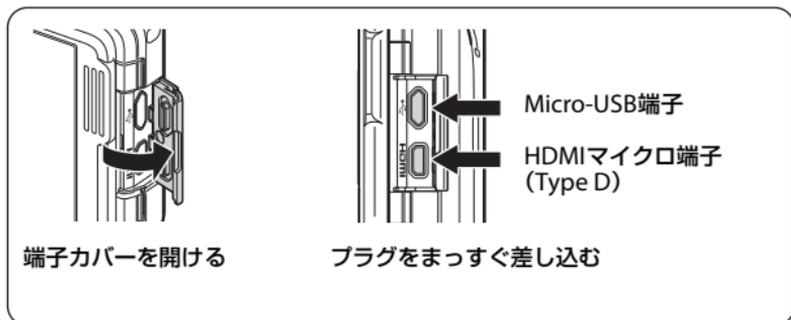
カメラの再生モード時に、Wi-Fiボタンを押すまたはNFCによりWi-Fi接続すると、画面に表示されている画像を送信指定に追加します。

- 1コマ表示の場合は、表示中の1コマを追加します。
- サムネイル表示の場合は、表示中の4コマ/9コマ/16コマを追加します。

Wi-Fi設定メニューの [スマートデバイスと接続] から接続を行ったときは無効です。

テレビ、プリンター、パソコンとの接続

テレビやプリンター、パソコンに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。



- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてからプラグを外してください。
- 別売のACアダプター EH-62Gを使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-62G以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- 接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：市販のHDMIケーブルをテレビのHDMI入力端子に接続します。

パソコンを使わずにプリントする



PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。
接続方法：USBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

パソコンで閲覧、管理する



パソコンに画像を取り込んで、簡易編集や画像データの管理ができます。

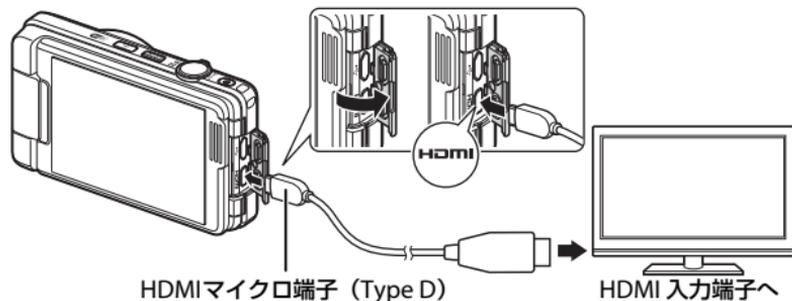
接続方法：USBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に、ViewNX 2 をパソコンにインストールしてください(📖152)。
- パソコンから電源を供給するタイプの他のUSB機器がパソコンに接続されているときは、接続する前にそれらの機器をパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が過大になり、カメラ、メモリーカードなどが壊れるおそれがあります。

テレビとの接続（テレビ画面での再生）

1 カメラの電源をOFFにし、テレビに接続する

- プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐ引き抜いてください。

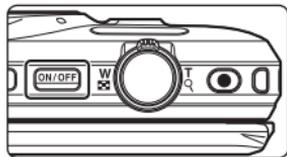


2 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

3 カメラの電源をONにする

- 画像がテレビに表示されます。
- カメラの液晶モニターは点灯しません。



✓ 画像がテレビに映らないときは

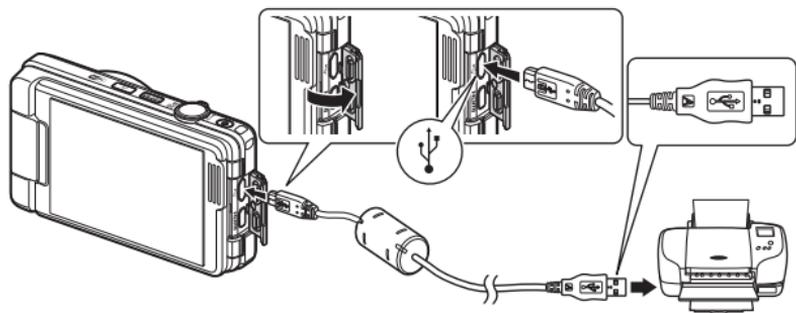
セットアップメニュー→ [HDMI] (□□136) がお使いのテレビに合っているか確認してください。

プリンターとの接続(ダイレクトプリント)

PictBridge対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます(ダイレクトプリント)。

カメラとプリンターを接続する

- 1 プリンターの電源をONにする
- 2 カメラの電源をOFFにし、USBケーブルでカメラとプリンターを接続する
 - プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。



3 カメラの電源が自動的にONになる

- カメラの液晶モニターに[PictBridge]画面(①)が表示された後、[プリント画像選択]画面(②)が表示されます。

①



②



✔ PictBridge画面が表示されないときは

プリンターによっては、[パソコン接続充電] (□137) を [オート] にするとプリントできない場合があります。電源がONになってもPictBridge画面が表示されないときは、カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、[パソコン接続充電] を [しない] に設定してから、再接続してください。

1コマずつプリントする

1 プリントする画像をタッチして選び、OKをタッチする

- ズームレバーを **W** (☒) 側に動かすと一覽表示に、**T** (Q) 側に動かすと1コマ表示に切り換わります。



2 [プリント枚数設定] をタッチする

- プリントしたい枚数 (9枚まで) をタッチします。



3 [用紙設定] をタッチする

- 印刷したい用紙サイズをタッチします。
- プリンター側の用紙設定で印刷するには、[プリンターの設定] を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。



4 [プリント実行] をタッチする

- プリントが始まります。



複数の画像をプリントする

- 1 [プリント画像選択] 画面が表示されたら、**MENU** をタッチする

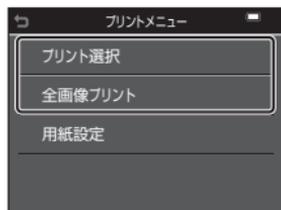


- 2 [用紙設定] をタッチする

- 印刷したい用紙サイズをタッチします。
- プリンター側の用紙設定で印刷するには、**[プリンターの設定]** を選びます。
- カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。
- プrintメニューを終了したいときは、**⏪** をタッチします。



- 3 [プリント選択] または [全画像プリント] をタッチする



プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、プリント枚数（各9枚まで）を設定します。

- プリントする画像をタッチして選び、**▲▼** をタッチしてプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、**✓**とプリント枚数が表示されます。選択をキャンセルするには、枚数を **0** にします。
- ズームレバーを **T (Q)** 側に動かすと **1** コマ表示に、**W (R)** 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- **✕** をタッチすると、すべての画像選択を解除します。
- 設定が終了したら **OK** をタッチする。プリント枚数の確認画面が表示されたら、**[プリント実行]** をタッチすると画像のプリントが始まります。



全画像プリント

メモリーカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントします。

- プリント枚数の確認画面が表示されたら、**[プリント実行]** をタッチすると画像のプリントが始まります。

ViewNX 2を使う（パソコンに画像を取り込む）

ViewNX 2をインストールする

ViewNX 2は、画像や動画のパソコンへの取り込み、閲覧、編集、共有を可能とする無償ソフトウェアです。下記ウェブサイトからインストーラーをダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。

<http://nikonimglib.com/nvnx/>

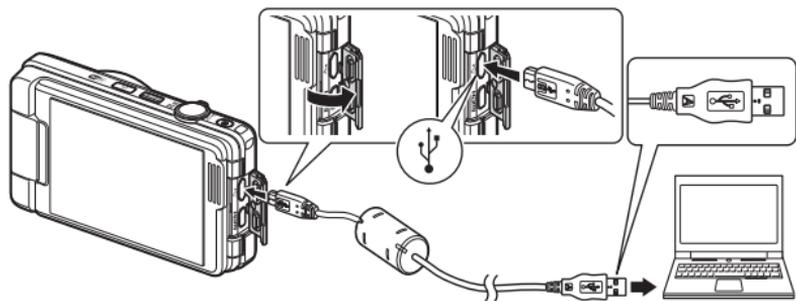
最新情報、動作環境は、当社ウェブサイトのサポート情報でご確認ください。

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったメモリーカードを用意する

メモリーカード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込みます。

- パソコンのカードスロット、またはパソコンに接続した市販のカードリーダーにメモリーカードを差し込む。
- メモリーカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルでカメラとパソコンを接続する。
カメラの電源が自動的にONになります。
内蔵メモリー内の画像を取り込むには、カメラにメモリーカードを入れずにパソコンに接続します。



起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

- **Windows 7 をお使いの場合**
右の画面が表示されたときは、次の手順で Nikon Transfer 2 を選びます。



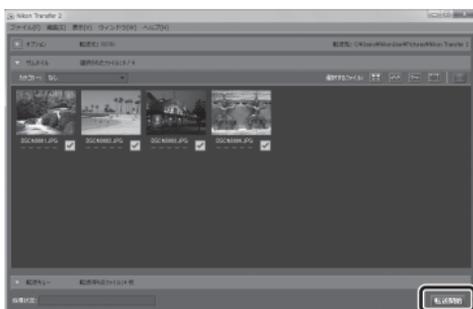
- 1 [画像とビデオのインポート] の [プログラムの変更] をクリックすると表示される画面で、[画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用] を選んで、[OK] をクリックする
- 2 [画像ファイルを取り込む] をダブルクリックする

メモリーカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

☑ USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

2 Nikon Transfer 2が起動したら、[転送開始]をクリックする



- 画像の取り込みが始まり、完了するとViewNX 2が起動して取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2の詳しい使い方は、ViewNX 2のヘルプを参照してください。

3 接続を解除する

- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはメモリーカードを取り外してください。
- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。

付録

取り扱い上のご注意.....	155
カメラについて.....	155
電池について	156
本体充電 AC アダプターについて	157
メモリーカードについて	158
お手入れ方法	159
クリーニングについて.....	159
保管について	159
警告メッセージ	160
故障かな?と思ったら.....	164
記録データのファイル名.....	171
別売アクセサリ.....	172
主な仕様.....	173
推奨メモリーカード.....	177
索引.....	179
ニコンプラザ、サービスセンターのご案内.....	183
アフターサービスについて	184

取り扱い上のご注意

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□□v~xi)をお守りください。

カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態を取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。

● 液晶モニターについて

- モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- 液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押ししたりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようご注意ください。

電池について

● 使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が0℃～40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属の電池は、ご購入時にはフル充電されておりません。

- 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- 電池内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、電池内部の温度が高くなっているときは、電池の温度が下がるのを待ってから充電してください。
このカメラを本体充電ACアダプターまたはパソコンに接続して充電する場合、電池の温度が0℃以下、45℃以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了した電池を、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後に電池の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量のじゅうぶんな電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。

消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあなたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。

● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなった電池は充電する

残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、電池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなった電池は、充電してからお使いください。

● 保管について

- 電池を使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- 電池は、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- 電池は、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

電池をじゅうぶんに充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しい電池をお買い求めください。

● リサイクルについて



Li-ion 00

充電を繰り返して劣化し、使えなくなった電池は、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

数字の有無と数値は電池によって異なります。

本体充電ACアダプターについて

- 本体充電AC アダプター EH-71P に対応している機器以外で使わないでください。
- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- EH-71P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- EH-71Pは、家庭用電源のAC 100～240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめのうえ、お買い求めください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、SD/SDHC/SDXCメモリーカード以外は使いません。推奨メモリーカード→□□177
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- メモリーカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 他の機器で使ったメモリーカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。
未使用のメモリーカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- **メモリーカードを初期化すると、メモリーカード内のデータは、すべて削除されます。**初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- メモリーカードを入れたあとにカメラに「このカードは初期化されていません。初期化しますか？」の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、**【いいえ】**をタッチしてください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。メモリーカードを初期化してよければ、**【はい】**をタッチし、確認画面の指示に従って操作してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やメモリーカードの故障の原因になります。
 - 電池/メモリーカードカバーを開けて、メモリーカードや電池を脱着する
 - カメラの電源をOFFにする
 - ACアダプターを外す

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。ブローアードで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディ

- ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
 - 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
- ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。**

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。

カメラを以下の場所に保管しないようご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺

電池の保管は、「取り扱い上のご注意」の「電池について」の「保管について」(P157)をお守りください。

警告メッセージ

以下のメッセージが表示されたときは、次の内容を確認してください。

表示	考えられる原因や対処法	📖
電池が高温です。 電源をOFFにします。	電源が自動的にOFFになります。温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。	-
カメラが高温です。 電源をOFFにします。		
カードがロックされています。	メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。「Lock」を解除してください。	-
このカードは使えません。	メモリーカードへのアクセス異常です。 <ul style="list-style-type: none"> 動作確認済みのメモリーカードを使用してください。 メモリーカードの端子部分が汚れていないか確認してください。 メモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。 	10、177
カードに異常があります。		
このカードは初期化されていません。 初期化しますか？	メモリーカードが、このカメラ用に初期化されていません。 初期化するとメモリーカード内のデータはすべて削除されるため、メモリーカード内に必要なデータが残っているときは、 【いいえ】 をタッチし、初期化する前にパソコンなどに保存してください。 【はい】 をタッチして確認画面の指示に従って操作すると、メモリーカードを初期化できます。	158
Eye-Fiカードは書き込み禁止の状態では使用できません。	Eye-Fiカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	-
	Eye-Fiカードへのアクセス異常です。 <ul style="list-style-type: none"> Eye-Fiカードの端子部分が汚れていないか確認してください。 Eye-Fiカードが正しく挿入されているか確認してください。 	-
メモリー残量がありません。	不要な画像を削除するか、メモリーカードを交換してください。	10、20

表示	考えられる原因や対処法	📖
画像を保存できません。	画像記録中にエラーが発生しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカード/内蔵メモリーを初期化してください。	135
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 メモリーカードを交換するか、メモリーカード/内蔵メモリーを初期化してください。	135
	オープニング画面に登録できない画像です。	125
	画像コピー先の容量不足です。 コピー先の不要な画像を削除してください。	20
これ以上、お気に入り登録できません。	すでに 200 コマの画像がお気に入りフォルダーに登録されています。 • 画像のお気に入り登録を解除してください。 • 別のお気に入りフォルダーに登録してください。	62 60
	音声メモを付けられない画像です。 • 動画には音声メモを付けられません。 • このカメラで撮影した画像を選んでください。	—
この画像は編集できません。	編集可能な条件を確認してください。	68、169
動画記録できません。	メモリーカードに動画を記録するのに時間がかかっています。 画像記録処理の速いメモリーカードに交換してください。	82、177
撮影画像がありません。	撮影済みの画像がありません。 • 内蔵メモリーの画像を再生するには、メモリーカードを取り出してください。 • 内蔵メモリー内の画像をメモリーカードにコピーするときは、 MENU をタッチして再生メニューの「 画像コピー 」を選んでください。	10 113
	選んだお気に入りフォルダーに画像が登録されていません。	60、61
	オート分類再生モードで選んだ項目に、分類された画像がありません。	64

表示	考えられる原因や対処法	📖
このファイルは表示できません。	このカメラ以外で作成または編集したファイルです。	-
このデータは再生できません。	このカメラでは再生できません。ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	
表示できる画像がありません。	スライドショーなどで表示できる画像がありません。	110
このファイルは削除できません。	画像にプロテクトがかかっています。プロテクトを解除してください。	111
アクセスありませんでした。	スマートデバイスからの通信信号を受信できません。無線接続の操作をやり直してください。 <ul style="list-style-type: none"> • Wi-Fi ボタンを押す • NFC 対応のスマートデバイスをカメラにタッチする • Wi-Fi 設定メニューの [スマートデバイスと接続] をタッチする 	123、142
接続できませんでした。	スマートデバイスからの通信信号を受信中、接続に失敗しました。Wi-Fi 設定メニュー [設定] で [チャンネル] を別の番号に変更し、無線接続の操作をやり直してください。	123、142
Wi-Fiの接続を切断しました。	カメラとスマートデバイスを無線接続中に、カメラにケーブルが接続されたか、電池残量が少なくなったか、または電波の状態が悪くなり無線接続が解除されました。ケーブルを外して無線接続の操作をやり直してください。	123、142

表示	考えられる原因や対処法	📖
レンズエラー	レンズの作動不良です。 電源を入れ直してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	164
通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。 カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	148
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。 電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	164
プリンターエラー： プリンターを確認してください。	エラーの原因を取り除いた後、[継続]をタッチして、プリントを再開してください。*	-
プリンターエラー： 用紙を確認してください。	指定したサイズの内紙をセットした後、[継続]をタッチして、プリントを再開してください。*	-
プリンターエラー： 紙詰まりです。	詰まった用紙を取り除いた後、[継続]をタッチして、プリントを再開してください。*	-
プリンターエラー： 用紙がありません。	指定したサイズの内紙をセットした後、[継続]をタッチして、プリントを再開してください。*	-
プリンターエラー： インクを確認してください。	インクに異常があります。 インクを確認した後、[継続]をタッチして、プリントを再開してください。*	-
プリンターエラー： インクがありません。	インクを交換した後、[継続]をタッチして、プリントを再開してください。*	-
プリンターエラー： ファイルが異常です。	プリントする画像ファイルに異常があります。 [キャンセル]をタッチして、プリントを中止してください。	-

※ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源、表示、設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源ONの状態、カメラの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。電源がOFFにならない場合は、電池を入れ直してください。 ACアダプター使用時は付け直してください。 <ul style="list-style-type: none"> 記録中であったデータは保存されません。 保存済みのデータは電池やACアダプターの取り外しでは失われません。 	—
電源をONにできない	電池残量がありません。	10、11、156
カメラの電源が突然切れる	<ul style="list-style-type: none"> オートパワーオフ機能が働きました。 低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。 カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 	16 156 —
液晶モニターに何も映らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源が入っていません。 オートパワーオフ機能が働きました。 カメラがテレビまたはパソコンと接続されています。 カメラとスマートデバイスをWi-Fi接続して、カメラをリモート操作中です。 	13 16 —
カメラの温度が高くなる	動画撮影やEye-Fiカードでの画像送信などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがありますが、故障ではありません。	—

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラ内の電池を充電できない	<ul style="list-style-type: none"> • プラグの接続状態を確認してください。 • パソコンで充電するときは、以下の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> - セットアップメニュー [パソコン接続 充電] が [しない] になっています。 - カメラの電源を OFF にすると、電池の充電は中止されます。 - カメラの表示言語と日時を設定していないときや、時計用電池が切れて日時がリセットされたときは充電できません。本体充電 AC アダプターで充電してください。 - パソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されることがあります。 - パソコンの仕様、設定または状態によっては、充電できないことがあります。 	11 87、137 — 13、14 — —
液晶モニターがよく見えない	<ul style="list-style-type: none"> • 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。 	128 159
画面で🔴が点滅する	<ul style="list-style-type: none"> • 内蔵時計の日時を設定しないと、撮影画面で🔴が点滅し、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2014/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー [地域と日時] で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。 	7、126
撮影日時が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • セットアップメニュー [モニター設定] の [モニター表示設定] が [情報オート] になっています。 	128
[日付写し込み] が選べない	<ul style="list-style-type: none"> • セットアップメニュー [地域と日時] が設定されていません。 	126
[日付写し込み] を有効にしたのに、日付が写し込まれない	<ul style="list-style-type: none"> • 日付を写し込めない撮影モードになっています。 • 動画には写し込みできません。 	130

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	13、14
設定内容が初期状態に戻ってしまった		
カメラから音がする	[AFモード] の [常時AF] 時や、選んだ撮影モードによっては、オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。	22、104、120

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。	145
撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> 再生モードになっているときやメニューが表示されているときは、シャッターボタン、● (動画撮影) ボタンを押してください。 フラッシュ表示の点滅中は、フラッシュの充電中です。 電池残量がありません。 	1、19、87 43 10、11、156
ピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> 被写体との距離が近すぎます。おまかせシーンモード、シーンモードの [クローズアップ]、またはマクロモードでの撮影をお試しください。 オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 セットアップメニュー [AF 補助光] を [オート] にしてください。 電源を入れ直してください。 	22、23、24、28、46 53 133 —
画像がぶれる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 ISO 感度を上げて撮影してください。 静止画を撮影するときは [静止画手ブレ補正] や [モーション検知] を、動画を撮影するときは [動画手ブレ補正] を使ってください。 BSS (ベストショットセレクター) を使ってください。 三脚などでカメラを安定させてください (セルフタイマーを併用すると、より効果的です)。 	43 99 121、131、132 28、96 45

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを④（発光禁止）にしてください。	43
フラッシュが発光しない	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュモードが ④（発光禁止）になっています。 フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 フラッシュが制限される他の機能が設定されています。 	43 48 55
電子ズームが使えない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [電子ズーム] が [しない] になっています。 撮影モードや他の機能の設定によっては電子ズームを使えません。 	133 57、133
[画像モード] が選べない	[画像モード] が制限される他の機能が設定されています。	55
シャッター音が鳴らない	セットアップメニュー [操作音] の [シャッター音] が [なし] になっています。[あり] にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。	134
AF補助光が点灯しない	セットアップメニュー [AF補助光] が [なし] になっています。[オート] に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。	133
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	159
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていません。	28、94
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 <ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 低いISO感度にご覧ください。 	43 99
画像が暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュモードが ④（発光禁止）になっています。 フラッシュが指などでさえぎられています。 被写体にフラッシュの光が届いていません。 露出を補正してください。 ISO感度を上げてください。 逆光で撮影しています。シーンモードの [逆光] にするか、フラッシュモードを ⚡（強制発光）にしてください。 	43 15 174 47 99 29、43
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	47

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
赤目以外の部分が補正された	[夜景ポートレート] 以外の撮影モードで、フラッシュモードを👁️ (赤目軽減自動発光) 以外にして撮影してください。	43、48
美肌の効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 4人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー [メイクアップ効果] の [美肌] をお試しください。 	51 71
画像の記録に時間がかかる	<p>以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 暗い場所などで自動的にノイズ低減機能が作動したとき フラッシュを👁️ (赤目軽減自動発光) にして撮影したとき シーンモードの [夜景]、[夜景ポートレート] または [逆光] ([HDR] を [する] に設定した時) で撮影したとき 美肌機能で撮影したとき 連写で撮影したとき 	— 44 27、28、29 51、105 96
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様 (ゴースト) 等が写し込まれることがあります。光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。	—

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。 このカメラ以外で記録した動画は、再生できません。 パソコンで加工したデータは、再生できないことがあります。 	—
画像の拡大表示ができない	<ul style="list-style-type: none"> 動画は拡大表示できません。 このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 	—

こんなときは	考えられる原因や対処法	
音声メモを録音できない	<ul style="list-style-type: none"> • 動画には音声メモを付けられません。 • 録音し直すときは、音声メモをいったん削除してください。 • このカメラ以外で撮影した画像には、音声メモを付けられません。このカメラ以外で録音した音声メモは、再生できません。 	<p>— 112 —</p>
画像編集ができない	<ul style="list-style-type: none"> • 画像によっては編集できません。編集で作成した画像は、再編集できないことがあります。 • メモリーカード / 内蔵メモリーに空き容量がありません。 • このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 • 動画は、画像編集できません。 	<p>33、68 — — —</p>
画像を回転できない	このカメラ以外で撮影した画像は回転できません。	—
画像がテレビに映らない	<ul style="list-style-type: none"> • セットアップメニュー [HDMI] が正しく設定されていません。 • パソコンまたはプリンターがカメラに接続されています。 • メモリーカードに画像が記録されていません。 • 内蔵メモリーの画像を再生するには、メモリーカードを取り出してください。 	<p>87、136 — — 10</p>
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2が自動起動しない	<ul style="list-style-type: none"> • カメラの電源が OFF になっています。 • 電池残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については、ViewNX 2 のヘルプをご覧ください。 	<p>— 137、145 145、152 — —</p>
カメラをプリンターに接続しても、PictBridge 起動画面が表示されない	PictBridge 対応プリンターの種類によっては、セットアップメニュー [パソコン接続充電] を [オート] に設定していると、PictBridge 起動画面が表示されず、プリントできない場合があります。[パソコン接続充電] を [しない] にしてプリンターに接続し直してください。	87、137

こんなときは	考えられる原因や対処法	
プリントする画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • メモリーカードに画像が記録されていません。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするには、メモリーカードを取り出してください。 	— 10
カメラ側で用紙設定ができない	<p>PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。 	—

記録データのファイル名

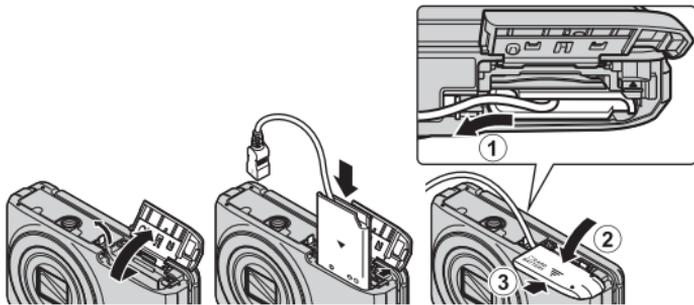
このカメラで撮影した静止画、動画、および音声メモには、以下のようにファイル名が付けられます。

ファイル名: **DSCN0001.JPG**

① ② ③

① 識別子	カメラの画面には表示されません。 <ul style="list-style-type: none">• DSCN：編集していない静止画、動画、動画編集で作成した静止画• SSCN：スモールピクチャー画像• RSCN：トリミング画像• FSCN：トリミングとスモールピクチャー以外の画像編集で作成した画像、動画編集で作成した動画
② ファイル番号	0001から9999までの連番で付けられます。
③ 拡張子	ファイルの種類を示します。 <ul style="list-style-type: none">• .JPG：静止画• .MOV：動画• .WAV：音声メモ（識別子とファイル番号は、音声メモを付けた画像と同じ）

別売アクセサリ

充電器	バッテリーチャージャー MH-66* 残量のない状態からの充電時間は、約1時間50分です。
ACアダプター	ACアダプター EH-62G* <取り付け方>  <p>ACアダプターのコードをACアダプターの溝に奥まで入れてから電池室に入れてください。次に、電池/メモリーカードカバーを閉める前に、コードを電池室の溝に奥まで入れてください。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーやコードを破損するおそれがあります。</p>

※ 日本国内専用電源コード（AC 100 V対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ(ニコンダイレクト) <http://shop.nikon-image.com/>でもお買い求めいただけます。

国または地域によって、販売していない場合があります。
アクセサリの最新情報は、当社ウェブサイトやカタログなどでご確認ください。

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX S6900

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	1602万画素（画像処理で減少することがあります）
撮像素子	1/2.3型 原色CMOS、総画素数1676万画素
レンズ	光学12倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.5-54.0 mm（35mm判換算25-300 mm相当の撮影 画角）
開放F値	f/3.3-6.3
レンズ構成	7群9枚（EDレンズ1枚）
電子ズーム倍率	最大4倍（35mm判換算で約 1200 mm相当の撮影 画角）
手ブレ補正機能	レンズシフト方式（静止画） レンズシフト方式と電子式の併用（動画）
ブレ軽減機能	モーション検知（静止画）
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離範囲	<ul style="list-style-type: none">• 先端レンズ面中央から約 50 cm ~∞（広角側）、 約 1.5 m ~∞（望遠側）• マクロモード時は先端レンズ面中央から 約 2 cm ~∞（広角側）
AFエリア	顔認識オート、中央、マニュアル（タッチパネルで AFエリアを選択可能）、ターゲット追尾、ターゲット ファインドAF
画像モニター	3型TFT液晶、反射防止コート付き、約 46万ドット 輝度調節機能付き（5段階）
視野率（撮影時）	上下左右とも約98%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約99%（対実画面）
記録方式	
記録媒体	内蔵メモリー（約30 MB）、SD/SDHC/SDXCメモリー カード
対応規格	DCF、Exif 2.3準拠
ファイル形式	静止画：JPEG 音声メモ：WAV 動画：MOV（映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声： LPCMステレオ）

記録画素数 (画像モード)	<ul style="list-style-type: none"> • 16M (高画質) [4608×3456★] • 16M [4608×3456] • 8M [3264×2448] • 4M [2272×1704] • 2M [1600×1200] • VGA [640×480] • 16:9 [4608×2592] • 1:1 [3456×3456]
ISO感度 (標準出力感度)	<ul style="list-style-type: none"> • ISO 125 ~ 1600 • ISO 3200、6400 (オート撮影モード時に設定可能)
露出	
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光 (電子ズームが2倍未満のとき)、スポット測光 (電子ズームが2倍以上のとき)
露出制御	プログラムオート、露出補正 (±2段の範囲で1/3段刻み) 可能
シャッター方式	メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
シャッタースピード	<ul style="list-style-type: none"> • 1/2000 ~ 1 秒 • 1/4000 秒 (高速連写時の最高速) • 4 秒 (シーンモードの [打ち上げ花火])
絞り	電磁駆動によるNDフィルター (-2 AV) 選択方式
制御段数	2 (f/3.3、f/6.6 [広角側])
セルフタイマー	10秒、2秒
フラッシュ	
調光範囲 (ISO感度設定オート時)	約 0.5~2.8 m (広角側) 約 1.5 m (望遠側)
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
外部インターフェース	
USB端子	Micro-USB端子 (付属のUC-E21以外のUSBケーブルは使わないでください)、Hi-Speed USB
HDMI出力端子	• ダイレクトプリント (PictBridge) 対応 HDMIマイクロ端子 (Type D)

Wi-Fi (無線LAN)	
準拠規格	IEEE 802.11b/g/n (無線LAN標準プロトコル)
伝送方式	IEEE 802.11b : DBPSK、DQPSK、CCK IEEE 802.11g : OFDM IEEE 802.11n : OFDM
通信距離	約 10 m
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412~2462 MHz (1~11チャンネル)
データ転送速度 (実測値)	IEEE 802.11b : 5 Mbps IEEE 802.11g : 20 Mbps IEEE 802.11n : 20 Mbps
セキュリティ	WPA2
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
表示言語	
	日本語、英語
電源	
	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL19 (リチウムイオン充電電池 : 付属) x1個 ACアダプター EH-62G (別売)
充電時間	
	約 2時間 (本体充電ACアダプター EH-71P使用時、残量の少ない状態からの充電時間)
電池寿命^{※1}	
静止画撮影時	約 190コマ (EN-EL19使用時)
動画撮影時 (実撮影電池寿命) ^{※2}	約 40分 (EN-EL19使用時)
三脚ネジ穴	
	1/4 (ISO 1222)
寸法 (幅×高さ×奥行き)	
	約 99.4×58.0×27.9 mm (突起部除く)
質量	
	約 181 g (電池、メモリーカード含む)
動作環境	
使用温度	0℃~40℃
使用湿度	85%以下 (結露しないこと)

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による温度条件23℃ (±3℃) で、フル充電電池使用時のものです。
- ※1 電池寿命は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。
- ※2 動画の連続撮影可能時間 (1回の撮影で記録可能な時間) は、メモリーカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL19

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	DC 3.7 V、700 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 31.5×39.5×6 mm
質量	約 14.5 g

本体充電ACアダプター EH-71P

電源	AC 100～240 V、50/60 Hz、MAX 0.2 A
定格入力容量	10.5～15.5 VA
定格出力	DC 5.0 V、1.0 A
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 55×22×54 mm
質量	約 48 g

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の的外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

推奨メモリーカード

下記のメモリーカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード	SDXCメモリーカード
SanDisk	2 GB	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB
TOSHIBA	-	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Lexar	-	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB

- 上記メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のメモリーカードは、動作の保証をいたしかねます。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、OS X、ならびにiFrameのロゴおよびシンボルは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- AndroidとGoogle Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- N-Markは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2014 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

索引

マーク・英数

おまかせシーンモード15、24
シーンモード25
スペシャルエフェクトモード34
ベストフェイスモード36
メイクアップモード37
オート撮影モード39
再生モード19
お気に入り再生モード60
オート分類再生モード64
撮影日一覧モード65
Wi-Fi 設定メニュー87、123
N マーク2、142
セットアップメニュー87、125
望遠ズーム17
広角ズーム17
拡大表示58
サムネイル表示59
(動画撮影) ボタン1、23
メニューアイコン87、89、105、108、109、116、123、125
1 コマ表示19
AC アダプター145、172
AF エリア50
AF エリア選択101
AF 表示6、16
AF 補助光1、133
AF モード104、120
BSS28、97
D- ライティング70
EH-71P176
EN-EL19176
Eye-Fi 送信機能139
HDMI136
HDMI ケーブル146、147
HDMI マイクロ端子1、145
HDR29
HS 動画117、119

HS 動画で記録開始119、120
ISO 感度99
Li-ion リチャージャブルバッテリー176
Micro-USB 端子1、145
NFC2、142、144
Nikon Transfer 2153
PictBridge146、148
SD メモリーカード158、177
USB ケーブル146、148、152
ViewNX 2152
Wi-Fi OFF123、143
Wi-Fi 設定メニュー87、123
Wi-Fi 送信画像の指定109
Wi-Fi ボタン1、142、144
Wireless Mobile Utility141

ア

アオリ効果76
赤目軽減自動発光44
赤目補正70
圧縮率89
打ち上げ花火25、29
笑顔自動シャッター106
液晶モニター2、6、159
オート撮影モード22、39
オートパワーオフ16、134
オートフォーカス82、104、120
オート分類再生モード64
オープニング画面125
お気に入り解除62
お気に入り再生モード60
お気に入り登録60
お気に入りフォルダー63
おまかせシーンモード15、24
音声メモ112
音量84、112

カ

カードの初期化10、135
顔認識オート101

顔認識撮影	50	撮影後の画像表示	128
拡大表示	58	撮影日一覧モード	65
風切り音低減	122	撮影メニュー	87、89
画像回転	111	撮影モード	22
画像コピー	113	サマータイム	126
画像サイズ	89	サムネイル表示	59
画像編集	68	三脚ネジ穴	2、175
画像モード	89	シーンエフェクト	26
カメラスタンド	2、3	シーンモード	25
カメラ内画像の送信	123	ジェスチャー操作	41
画面の明るさ	128	時差	126
画面の自動回転	9	自動発光	44
カレンダー表示	59	絞り値	17
かんたんパノラマ 	25、31	シャッター音	134
かんたんパノラマ再生	33	シャッター音の設定	108
簡単レタッチ	69	シャッタースピード	17
感度制限オート	99	シャッターボタン	1
逆光 	25、29	充電器	12、172
強制発光	44	常時 AF	104、120
記録可能コマ数	14、90	初期化	10、135
記録可能時間	80、81	白黒	100
クール	100	シングル AF	104、120
クイックエフェクト ...	40、68、104	ズーム	17
組み合わせさせて使えない機能	55	ズームレバー	1、17
クローズアップ 	25、28	ストラップ	ii
クロスプロセス 	34	ストラップ取り付け部	1
蛍光灯	94	スピーカー	1
言語 /Language	136	スペシャルエフェクトモード	34
現在の設定	123	スポーツ 	25、27
広角ズーム	17	スマートデバイスと接続 ...	123、142
光学ズーム	17	スモールピクチャー	78
高速連写	96	スライドショー	110
硬調モノクローム 	34	スリム効果	75
極彩色 VIVID	34	スローシンクロ	44
サ		スローモーション撮影	117、119
再生	19、66、84、112	静止画手ブレ補正	131
再生メニュー	87、109	晴天	94
再生モード	19	接写	46
先取り撮影	96、98	設定	123
削除	20、67、112	設定音	134
撮影	15、22	設定クリアー	140
撮影回数	108	設定の初期化	123
撮影間隔	108	セットアップメニュー	87、125
		セピア	100

セルフコラージュ	38、108
セルフタイマー	45
セルフタイマーランプ	1、45
セレクトカラー 	34
セレクトソフト	77
操作音	134
ソフト SOFT	34

タ

ターゲット追尾	93、102、103
ターゲットファインド AF	52、102
タイムゾーン	14、126
ダイレクトプリント	148
タッチ	4
タッチ AF	93
タッチ撮影	18、91
タッチシャッター	92
端子カバー	1
単写	96
地域と日時	13、126
手書きメモ 	25、29
テレビ	146、147
電球	94
電源スイッチ / 電源ランプ	1
電子ズーム	17、133
電池	10、11、14
電池 / メモリーカードカバー	2
電池残量表示	14
電池室	172
電池ロックレバー	10
トイカメラ風 1 	34
トイカメラ風 2 	34
動画撮影	23、80
動画撮影中の静止画記録	83
動画設定	116
動画手ブレ補正	121
動画編集	85、86
動画メニュー	87、116
ドラッグ	4
トリミング	79
トワイライト 	25
曇天	94

ナ

内蔵メモリー	10
内蔵メモリーの初期化	135
内蔵メモリー表示	7、9
夏時間	13、14、126
日時の設定	13、126
ノスタルジックセピア SEPIA	34

ハ

バージョン情報	140
パーティー 	25、27
ハイキー HIGH	34
パソコン	146、152
パソコン接続充電	137
発光禁止	44
バッテリーチャージャー	12、172
パワーコネクターカバー	2
半押し	17
ビーチ 	25
ピクチャーカラー	100
日付写し込み	130
日付の表示順	13、126
美肌	37、51、71、105
ビビッドカラー	100
標準カラー	100
ピント	101
ファイル名	171
風景 	25
フォーカスロック撮影	54
フォーマット	135
フラッシュ	1、43
フラッシュ表示	43
フラッシュモード	43、44
プリセットマニュアル	95
プリンター	146、148
プリント	146、149、150
フレームレート設定	122
プロテクト設定	111
フロントシャッターボタン	1、18
ペイント	73
ベストショットセクター	28、97
ベストフェイスメニュー	87、105
ベストフェイスモード	36

別売アクセサリ	172
ペット 	25、30
ペット自動シャッター	30
ヘルプ	25
ポートレート 	25
望遠ズーム	17
ポップ POP	34
ホワイトバランス	94
本体充電 AC アダプター	176

レンズバリアー	1
ローキー LOW	34
露出補正	47

マ

マイク (ステレオ)	1
マクロモード	46
マルチ連写	97
ミュージアム 	25、28
ミラー 	34
無線 LAN	141
メイクアップ効果	71
メイクアップメニュー	87、108
メイクアップモード	37
目つぶり軽減	107
目つぶり検出設定	138
メモリーカード	158、177
メモリーカードスロット	10
メモリーカードの初期化	10、135
メモリーの初期化	135
モーション検知	132
モニター設定	128
モニター表示設定	128
モノクロコピー 	25、29

ヤ

夜景 	25、28
夜景ポートレート 	25、27
夕焼け 	25
雪 	25
用紙設定	149、150

ラ

料理 	25、28
連写	96
連写グループ表示方法	66、114
連写の代表画像選択	66、114
レンズ	1、173

ニコンプラザ、サービスセンターのご案内

■ニコンプラザ

ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。充実したサポートサービスを通して、お客さまのデジタルイメージングの世界を広げ、写真文化の普及、向上に資することを目指しています。

ニコンプラザ銀座

〒104-0061 東京都中央区銀座7-10-1 ストラータ ギンザ 1・2階
営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ新宿

〒163-1528 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー 28階
営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ名古屋

〒461-0005 名古屋市中区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル2階
営業時間：10:30～18:30(日曜日、祝日、年末年始を除く毎日)

ニコンプラザ大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 13階
営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日)

 ニコンプラザショールーム (ナビダイヤル)
0570-02-8080

 ニコンプラザサービスセンター (ナビダイヤル)
0570-02-8060

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

■サービスセンター

ニコン映像製品のメンテナンスサポートの窓口です。カメラ製品の展示の他、ご質問、ご相談もお受けしています。お気軽にご来所ください。

札幌サービスセンター

〒060-0807 札幌市北区北7条西4-3-1 新北海道ビルディング2階

福岡サービスセンター

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-4-1 博多駅前第一生命ビル1階

(各サービスセンター共通)

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休業など弊社定休日を除く毎日)

 (ナビダイヤル)
0570-02-8050

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるサービスセンターをお選びください。

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577(ニコンカスタマーサポートセンター)におかけください。

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

ニコンサービス機関（ニコンプラザ、サービスセンター、修理センター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

- ニコンサービス機関について詳しくは、左ページおよび裏面をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、(03)5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。

※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。



0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00(年末年始12/29～1/4を除く毎日)

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。

製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



0570-02-8200

一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング/サポートページ>

●<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。

※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

●<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**